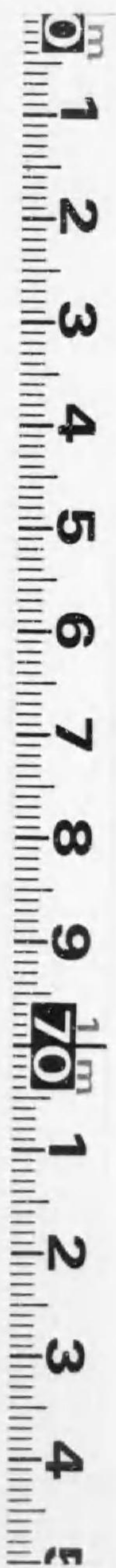
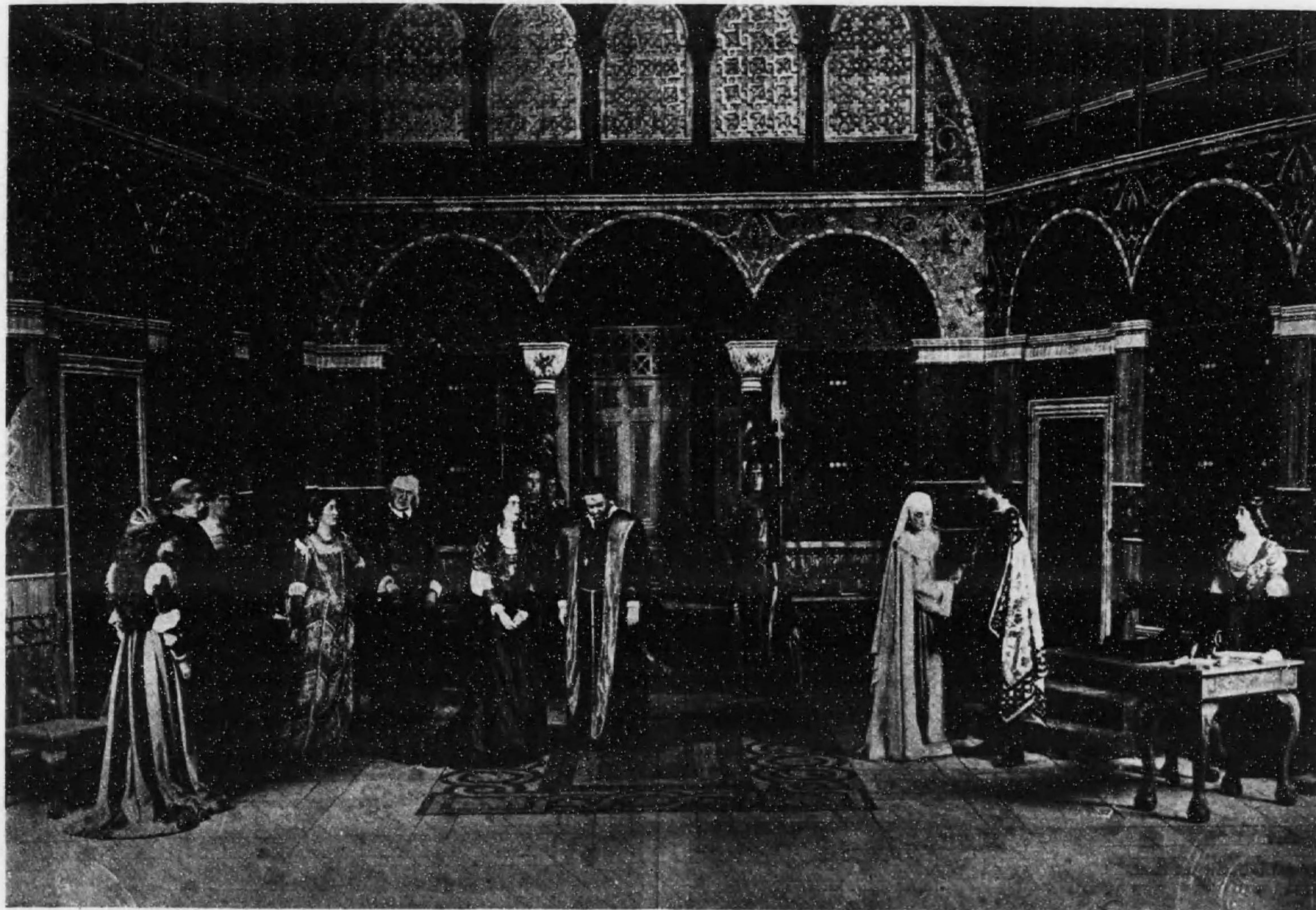


522
11
176



始





MEASURE FOR MEASURE.

Mr. Oscar Ashe as Angelo; Miss Lily Brayton as Isabel.

Duke: "Dear Isabel,
I have a motion much imports your good,
Whereto if you'll a willing ear incline,
What's mine is yours, and what is yours is mine."—(V. 1.)



以
尺
報
尺

坪内逍遙

譯

13. 3. 29

購求



緒言

此作は、「オールズ・ウェル・ザット・エンズ・ウェル」及び「トロイラスとクレシダ」の二作と相並べて、通例、ほゞ同時代に作られたる一種格別の一集團と見做され、特にシェークスピアが失意時代の喜劇と稱せらる。げに、其習作期の愉快なる空想喜劇「真夏の夜の夢」、其成熟期の、頗る善く真面目と滑稽との調諧を得たる喜劇の代表作「ゼニスニクスの商人」、乃至其最得意時代と信ぜらるゝ頃の極めて快活なる喜劇「ウィンゾア

の陽氣な女房連」及び「アズ・ユート・ライク・イット」などに比較すれば、多少其思想脈を異にせるものゝ如し。就中、「以尺報尺」は、多くの批評家が此作者の喜劇中の最も讀みづらく痛ましきものと評したる程に、世を呪ひ、俗を嘲るの意あらはにして、甘きをかしみよりも苦き皮肉味のゆたかなる作なり。随つて、何となく近代文學に謂ふ所の現實曝露、幻影破滅の風情もありて、時にイブセン、ブリュー、ショーなどの作意を聯想せしむる點あるを其特色とす。

此作は、一六四五年頃に、既に一二度上演せられたるらし

き記録あれば、晩くも作者が四十歳前後の作なるべく假定せらる。すなはち、「ハムレット」の完成、「オセロー」の創作などと大抵期を同じうせるものならん。其悲觀的の、陰鬱なる思想脈にも、生をはかなみ、俗を憤る詞句の上にも、彼れと此れと、幾分か相通ふ所あり。「ハムレット」の叔父王の煩悶の獨白は、本篇の偽善者アンジロのそれと異曲同調と評して不可なく、ハムレットの死に對する恐怖は本篇のクローディオのそれと其母胎を一にせるものとも見ゆ。其他、甚だ零碎ながら、本文中とところ／＼に見えたる當時の出來事に對する當込みらしき文句、例へば、公爵ギンセ

ンシオが民衆の歡呼殺到に對する嫌惡けんおの、其頃新たに英國王となれりし蘇王ジームスの英國民に對する感情に似寄りたる、又は第三幕、第二場中に暗示せられたる一六〇二年、同三年のロンドン市の洪水、乃至風紀上の厳しき取締り、其他、時代の推移に關したる一二のほのめかし等によりて、此作は、一六〇三年より同四年までの間に作られたるものと推定せらる。

一五七八年に刊行せられし脚本に「プロモスとカッサンドラ」と題したるものあり、ジョージ・ホエットストンといふ者の作に

て、それみづからとしては取るに足らず、又實演もせられざりし作なるが、シェークスピヤの此作の種本たりしが爲に、有名なり。(該脚本は、ニコラスが一七七九年に復刊せし「六種シックス・オールド・プレイスの古脚本」中に收められてあり)。尙、ホエットストンは、一五八二年に、同じ話の筋を散文に綴りて、*"Heptameron of Civil Discourses"*と題したる自著の中に載録せり。彼のコリヤールシエークスピヤス・ライブラリーが「沙翁書庫」中に復刊せしものは是れなり。但し此譚はホエットストンの創作にはあらず、一五六五年に伊太利のシリにて發行せられし小話集 *"Heptomithi"* 中の一編にして、シェークスピヤが「オセロー」の筋立を借りたりし其同じ

作家、ジラルヂ・シンシオの著なり。或は此原話をもシエークスビヤは多少参酌したりしならんが、尙主としてはホエットストンの脚本に據りしことほゞ明かなれば、左に該脚本の梗概を掲ぐ。

嘗て、ハンガリー・ボヘミヤの王コルイナスの支配下なりしジュリオ市に一法律ありたり。曰く、苟も私通の罪を犯したらん者は、男は其頭を失ひ、女は終生何等かの假裝をなして、其恥を公表しつゝ、世を経ざるべからずと。此嚴法は、さる慈悲深き政務官の恩惠によりて、一時は廢止同様となりて

れりしが、國王代を勤むる卿^{ロイフ}プロモスといふ者の主權時代となりて、俄に該法の厲行を主張し、一青年紳士アンドルージオを、ポライナといふ一處女と私通せし^{カビ}廉にて、死刑に處すべしと宣告せり。アンドルージオの女性の同胞(以下假に妹と譯す)にカッサンドラといふ貞潔にして美なる一處女あり、アンドルージオの命を救はんとて、直ちに卿プロモスに面接して、哀訴歎願す。プロモスは該女の兄思ひの行ひに感じ、且つ其美に動かされて、長く共に語ることを喜び、一時、刑の執行を猶豫せり。さるほどに、非道なる彼れは、次第に邪まなる慾情を募らせ、カッサンドラに迫りて、若し

其童貞を償とせば、兄アンドルージオの死刑を免ぜんと言ひ出だせり。貞潔なるカッサンドラは、之を聽きて、憎み且つ怖れ、最初は此誘惑を峻拒せしが、兄アンドルージオの切なる哀願に敵しかねて、遂に下の如き約束の下に、プロモスの要求に屈從せり。曰く、直ちに其兄を赦免すべし、曰く、後に正式に彼女と婚すべしと。然るに、悪を行ふに果敢なるが如く、約を破るにも平然たるプロモスは、最も嚴格に誓約したりしにも拘はらず、其慾を遂ぐるに及んで、些も之を履行せんとはせず、剩へ、一は以て自家の威嚴を擁護し、一は以てカッサンドラを脅して豫め其叫喚を抑

止せんと欲したるらしく、竊に牢司らうつかさに命じて、急にアンドルージオを死刑に處し、其首をカッサンドラに示さしめんとせり。然れども牢司らうつかさは、アンドルージオの激しき歎きに同情するの餘り、深くプロモスの邪淫を憎みて、ひそかにアンドルージオを脱牢せしめ、恰も其際そのとき斬に處せられしる重罪人の頭を、彼れの首と偽り稱して、カッサンドラの許に送りぬ。其首は甚しく顔面を損ひてありしゆゑ、カッサンドラはそれを兄の首と信じ、悲歎に堪へかね、一旦はあはや自殺せんとしたりしが、やがて思ひ返し、怨を報ゆるために、プロモスの奸惡の一部始終を國王に直訴せんと思ひ立

てり。而していよいよを實行するや、王は深く之を憫み、たゞちにプロモスの罪を糾さんと欲して、急にジュリオ市に來臨せり。王の直裁の結果、プロモスは（其頃の慣法に従ひて）カッサンドラの汚名を救ふために、正式の婚儀を執行すべく、而して其儀の終るや、其憎むべき犯罪の故を以て、速に死刑に處せらるべく宣告せられぬ。然るに、斯くして其婚儀を了へ、正式の妻となれるカッサンドラは、今更に切なる愛著の情起りて、夫たるプロモスを見殺しにするに忍びず、王に縋りて、熱心に其助命を哀願せり。王は其意を憫まざるにはあらねど、國家の政道には替へがたし

とて、其願ひを聽かざりき。時に、脱牢後林間に潜伏しをりしアンドルージオ、プロモス死刑の噂を傳へ聞きて、竊に林を出で、假裝して衆の背後に立ちまじり居たりしが、妹の歎きを傍觀するに忍びずして、自ら名宣りいで、おのが犯罪を自白して、王の寛恕を乞へり。こゝに於て、王は、カッサンドラの徳操を世に彰さんがためにとて、彼れをもプロモスをも共に赦して無罪となしぬ。

以上はホエットストーンが脚本の梗概なるが、これによりてシェークスピアが作の大綱は、殆ど彼れが作そのまゝなるを知

るべし。然れどもホエットストンのは、たゞ粗材を山より斫り出だしたるまゝに陳列せるにひとしききものにて、シェークスピアの作の、やゝ我淨瑠璃又は稗史式（まほん）に趣向を凝らしたるに比べて、多少粗撲と自然らしきとの點には長所あれど、要するに、藝術品としての何等の美もなく、又其人物の如きは、すべて粗製の傀儡然たるものゝみなり。まだしもシンシオの原話には、稀薄ながら、幾分かの詩趣もあり、生の觀察（ライフ）の斷片らしき詞句もあり。按ふに、シェークスピアは、寧ろ此原話より暗示（ヒント）を得て、女主人公イサベラの性格を作りしならん歟。いづれにもせよ、シェークスピア

の此作のホエットストンに負ふ所は、明かに其大綱だけなることは、前掲の梗概と本篇の、遙かに複雑なる脚色とを比べ觀れば瞭然たり。例へば、公爵が托鉢僧に假裝して、恰も我西明寺時頼入道の如く、下層民間に立ちまじらひつゝ、政治振の是非を偵察すといふ筋の如き、又、其同じ公爵が、淑女イサベラの僞君子アンジエロに迫られて、危く其操を汚されんとするを救ふために、曾てアンジエロと婚約ありし他の一女子を替玉（かへたま）に使ふ一條の如き、種々の笑ふべき、併しながら當時の敗風俗の寫生とも見るべき若干の道化人物及び彼等に關聯したるをかしき告訴、並びに

諷刺味のゆたかなる種々の滑稽事件の如き、若しくは心理的興味深き偽君子アンジエロの獨白の如き、シエクスピアの作中にて稀に出會ふ強烈の場面とも稱すべきアンジエロ對イサベラの間答、及びイサベラ對其兄クロードイオの間答の如きは、悉く皆シエクスピアが詩的空想の特産物なり。さもあれ、今日の目にて見れば、シエクスピアの此改作は、むしろ趣向に過ぎたり。筋にも無理多く、性格にも不自然の點少なからず。しかも尙、淨瑠璃又は草双紙もしくは馬琴の稗史式などを本體とせる我舊劇の臺帳に比ぶれば、さすがに遙かに心理的感興深く、殊に道化人物の

描寫に至つては、作者得意の自然的筆致と寫生趣味とを發揮し來りて、三百年前に於ける市井の實在性格を躍如たらしむ。尙、半悲劇的性格としては、偽善者アンジエロと淑女イサベラとが最もよく描かれたり。惜むらくは、原話のままの筋を悦ぶ當時の慣例に誤られてか、或は喜劇の約束に餘儀なくせられてか、大詰を不自然なる「めでたしめでたし」に纏めたるため、折角深刻げに造られかけたりしアンジエロの性格が、遂に一箇の土人形たるに過ぎぬものとなれり。公爵がイサベラと婚を約する一句の如きも、同じ慣例より出でたる蛇足たるに外ならず。大詰の

段取は、ホエットストンの作の方むしろ自然なり。又、淑女が偽善者の遊び物となるといふ原話のまゝの筋立は、いかにも痛ましきに過ぎて、シェイクスピアの中年以後には、世人の容認しかねたる所ならんが、自然の悲劇趣味より言へば、これもまた原話の方むしろ優りたり。但しこれらの弱點あるの故に、シェイクスピアのをホエットストンの作よりも（彼のトルストイがリヤ王の原作をシェイクスピアのそれよりも遙に優りたりと激賞したるやうに）評價せんとする者あらば、そは誣罔の甚しきものと言はざるべからず。脚本の價值は、筋立よりも、性格の描寫、生の觀察の深み、其場シチュエ

面エーシオンの緊張、實演上の魅力等に在ること勿論なればなり。

因に云ふ、此原話は、シンシオみづからも伊太利の或古史中より得たりしものなりとロルフは云へり。又、彼のハズリットの「沙翁書庫」シェイクスピアライブラリー中にも、二種の類話あり。尙、佛蘭西の古史中にも、又和蘭の史蹟にも、似寄りたる事實ある由なり。サルドウの「ラトスカ」の如きも、此原話の改作たること明かなり。

さて、實演の歴史を按ずるに、英國の復辟期リステレシオン（一六六〇年）

以前には、此作の上場に關する何等の記録もなし。然るは、例のビューリタンが全權を得たりし時代とて、あらゆる娛樂機關が其運轉を禁ぜられたればなり。チャールス二世王登極して、諸劇場の公許せらるゝや、他の作と共に、*"The Laws against Lovers"* (戀人につれなき掟)と題したる一作上場せられしが、こはシェイクスピアの樂觀時代の喜劇「マッチ・アドー・アバウト・ナッシング」(空騒ぎ)と此失意期の喜劇「以尺報尺」とを無慚にも捏ち合せたる惡趣味の改作劇にして、作者はシェイクスピアの落胤と自稱しつゝ、ありしダヴナントなりき。此改作が如何に觀るにも讀むにも適せざる

劣作なりしかは、ヘンリー・アーギングが其「沙翁全集」中に記載せるや、くはしき梗概によりて、察するに堪へたり。一七〇〇年に至りて、チャールス・ギルドンといふ者、更に一の改作を試み、(僞善者アンジェロは當時の名優ベッタートン、淑女イサベラはブレースガードル夫人といふ役割にて)、リンコンス・イン・フィールズにて上演せしが、是れ將た徒らに原作の美處を會釋もなく切斷し、甚しき不具となれる五體に、繼剝の錦繡然たる音樂要素を纏はせし惡作にして、悉く道化人物を削除し、其代りとして、全く餘興式なる音樂と舞踏とを挿加したるものなりき。

次は一七二〇年にして、劇場は同じくリンコンス・イン・フィールズのそれなりしが、実際にはクインが公爵に扮し、セイモア夫人がイサベラの役を勤めき。此時の臺帳は、たとひシェイクスピアの原作其まゝならざりしも、ダヴナントもしくはギルドンの改作本ならざりしことは、道化人物の一人ルーシオの名の番附面に見えたるによりて、ほゞ推知せらる。此上演は八回つゞきたる上に、翌年又再演したりといへば、相應の好評を博したるなるべし。此公爵の役は、クインが深く愛好せし所にして、其後も、到る處の劇場にて、必ずのやうに出し物にしたりと云ふ。すなはち、一七〇

七年にも、ドルーリー・レーン座にて、シッパ夫人のイサベラにて、之を演じ、又、一七四六年にも、コエント・ガーデンにて、ブリッチャー夫人をイサベラとして、演じ、尙一七五〇年にも、同劇場にて、同じ役を勤めしが、是れ彼れが公爵に扮せし最後なりき。

かくて後、尙數回の復演リバイバルを経て、一七八〇年に及び、有名なる女優シッドンス夫人、其初役として、バス市にて、イサベラを演じ、つゞいて一七八三年に、ロンドンのドルーリー・レーンにて之を再演し、好評を博したり。かくて夫人は、一七九四年には、ジョン・ケンブルを公爵役に廻はして、やはり同座

にてイサベラ役を勤めたり。後二十年（一八〇三年）二人は
又も同座にて同じ役割を繰返せり。夫人がイサベラ役の
最終は一八一二年なりしが、折から老衰甚しかりしかば
大詰の場にて、公爵の前に跪くや、人手を借らずしては、
起つ能はざりきと云ふ。シッドンス以後、よく彼女に企及す
る名女優なかりしが爲か、或は他にも理由ありてか、「以
尺報尺」の復演は又一時とだえたりしが、一八一六年に
至りて、オ・ネイル嬢の初役イサベラ、イエーツの公爵にて、一上
演あり。つゞいて一八二四年にも、僅かに二日間の上演
ありたり。一八四六年には、ホエルプスの公爵、アディソン嬢の

イサベラにて、サドラーズ・ウェルスの十一月興行あり、二人とも
相應の好成績を収めたりと云ふ。其以後にては、一八七
六年のアデレイド・ネイルソン嬢のイサベラ、一八八四年のストラッ
トフォード・オン・エダンの沙翁記念座に於けるチャールズ・バーナード
の興行の他には、殆どまた記すべきものなし。

按ふに、此作の餘り多く歓迎せられざりしは、藝術的評
價以外の或批判、例へば、道德的批判などに因るもの、如
し。すなはち、主として其作意の皮肉にして暗黒面の無
遠慮なる曝露を事とせるを嫌忌せるもあるべし。とり

わけ、其露骨なる風俗描寫の、時に甚しく猥雑に、時に甚しく卑陋なるを惡めるも多からん。然るは謹厚ぶりを表看板おろてかんばんとする英人間などには有りがちの事なり。されども、其實、此作の特色はそれら無遠慮なる直寫に存する以上、之を削除し去りたらんは、恰も豕肉などより悉く脂肪分を絞り取りたらんが如く、無味乾燥のものとなるべし。さらぬだにシェークスピアの諸作は、殊に喜劇は、其自由なる寫生味と之に伴ふ白せりふの呼吸いきを生命となせるなれば、駄洒落、地口、もしくは時事に對する當込みの如きをさへも、忽諸には附しがたし。況んや此作の如く、特に嘲

世的と見做さるゝものに於てをや。他の眞摯專一なる悲劇物は、或は其構想の雄大若しくは深刻と其情趣の幽遠若しくは精緻との爲の故に、譯文の説明的なる鈍重をも、隱語然たる佶屈をも多少は容忍し得るの餘地を有すべきなれど、一に當意即妙の輕快と口を衝いて出づる底の自在とを其生命となさざるべからざる喜劇に至りては、之を譯するに當りて、殆ど些の晦澁をも容さず、些の不妥貼をも忍ばざらんとす。讀みて後數分間にして、辛うじて其意味を解し得て微笑するが如くんば、滑稽突梯の興は空然たるべければなり。然れども、由來、地口、駄

洒落、場當り、當込み等は、多く年所を隔つれば、其國人にすら解せられがたきを常とす。我三馬、一九の滑稽物を、今人は（文學知識ある者と雖も）、多少の註脚を俟たざれば、解し得ざるが如し。シェークスピアのそれが今の英國の知識階級に於けるは、更にそれよりも甚しきものと見て不可なし。況んや其我國なる普通の讀者に於けるをや。然しながら理會するはまだしも容易し、其滑稽のをかしまをさながらに異邦語に移さんことは、殆ど全く不可能の難事なり。予は従來も斯種弄語、隱語より成れる喜劇的要素に遭遇する毎に、困惑を感じたりき。按ふに、原作

者は、ひとへに興に乘じ、半なか以上筆拍子に任せて、最も暢のん氣に揮ま灑ししたるべき部分を、譯者は、其反對に、言はゞ小心翼翼として最も多く困惑して、而も其結果は飽迄も暢氣に、自然に、出放題らしくと企圖しつつ、辛うじて譯出するが如きは、かゝる翻譯にのみ伴ふ、人知らぬ一種のアイロニーとも評すべきなり。本譯に限り、卷末に二三の註解を附載したるは、右に謂ふが如き困惑の餘業にして、讀者の理會に便せんが爲のみ。

大正七年七月初旬

譯者誌

登場人名

ギンセンシオ、ギエンナ國の公爵。
アンジエロ、公爵不在中の代理官。
エスカラス、アンジエロと共に國政に參與せる老貴族。
クローディオ、青年紳士。
ルーシオ、放逸なる士分の者。
二人の他の士分の者。

典獄。

トマス。

ピーター。

清僧。

判事一人。

グーリヤス。

エルボー、愚昧なる警務官。

フロッス、低能の紳士。

ボンペー、淫賣屋の手代。

アブホオリン、死刑執行吏。

バーナーディン、放逸無頼の囚人。

イサベラ、クロロディオの妹。

マリヤナ、アンジェロの許嫁。

ジュリエット、クロロディオの情人。

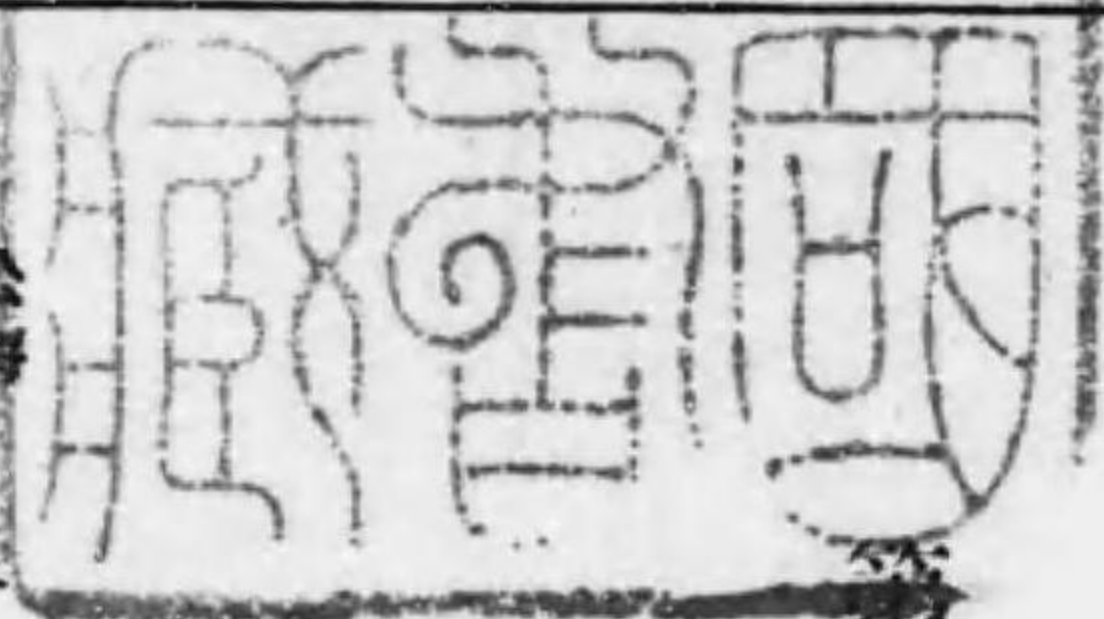
フランシスカ、尼僧。

オーヴーダン、淫賣屋の女主人。

其他、貴族、役人、市人、小童、侍者等。

場所 ギエンナ市。

時代 不定。



以尺報尺

メジユア・フオア・メジユア

第一幕

第一場 公爵邸内の一室

ギエンナの公爵ギンセンシオと其
老臣エスカラスとが多勢の貴族及
び侍者らを従へて出る。

公爵 エスカラス！

エスカ 御前？



公 此道に掛けては、わしなぞが助言し得る以上に心得てゐるお前さんに對して、政治の講釋をするのは、辯を好むとも見えようから、只もう、どうか精一ばい、蘊蓄を傾けて、勤めて下さい、と言ふより外には言ひ置くこともない。人民の性質も、國家の制度も、諸裁判の手續きなんぞも、實地の經驗で得られる限り、お前は、わしが知つてゐる何人にも劣らず、心得てゐる。：これが委任狀である。此内容に悖らんやうに。 (侍者に向ひて) これ、アシジエロに、こゝへ參れと申して來い。

侍者 入る。

(エスカラスに) お前は、どんな鹽梅に、彼仁が予の代理を勤めるであらうと思ふ？ 實は、彼仁ならばと見込を附けて、留守中の名代に選び、予の恩をも、威をも、又わしの一切の權力機關をも代理させることにしたのだが、お前はそれを如何思ふ？

エスカ 若し此ギエンナに、然ういふ光榮を蒙りまするに適當したものがございませう。

公 (一方を見やりて) あ、彼仁が來たわい。

アシジエロ 出る。

アシジ (膝まづいて、敬禮して) 常に御尊命を奉じをりまする小臣、御意を承はらうとて參上 仕りました。

公 アンジエロ、お前の身には一種の符號のやうなものが現れてゐて、お前の平素の模様は十分に世人が知つてゐる。ところで、お前の才徳はお前の所有物には相違ないが、それを自身の爲にのみ、又は自身をその爲にのみ消費しても可いといふ程に、お前の物ではないのである。天は人間を、人間が松明を使ふやうに、お使ひなされる。松明は、松明自身を照らす爲の物ではないと同様に、若し才徳が他人を裨益するの用をしなければ、それは有

れども無きにひとしいと言はんければならん。そもく、人の精神が靈妙に造られてあるのは、つまり靈妙な結果を生ぜしめようが爲である。蓋し、造化が、假にも其靈能の幾分厘かを人間に貸與する場合には、彼女は本來が客い女神だから、債主たるの権利上、謝禮は勿論、利子をさへも取らなければ承知しないのだ。……が、是れは教師たる人に對つて講釋することではなかつた。……と言ふ譯だから、アンジエロ、これを。……(と委任状を渡すことわしの不在中は、十分わしに成り代つてくれ。ギエンナ國內の生殺與奪はお前の舌次第、心次第である。此エスカラスは、(とエスカラスへ思入して) 第一の故老だが、お前の副役にしておく。……委任状を納めなさい。

アンジ
あゝもし、御前さま、さういふ貴重なお形代用に御使ひ遊ばされます前に、もつとよく小臣の地金をお吟味遊ばしますやうお願ひ申し上げます。
公
もう辭退するな。とくと考へた上で、お前を選んだのである。だから、受

ておきなさい。わしの出立は、最も急を要するから、大切な事をも棄て、おいて出掛けねばならん。其時の必要に應じて、模様は書面で知らすであらう。此地で起つた事も、一々知らせて貰ひたい。では、機嫌よう。どうか委任した事を、首尾よく實行してくれ。

アンジ
ですが、せめて途中まで御同伴いたしますことをばお許し下されませ。
公
急ぐから、それは出来ん。いや、決して狐疑するには及ばん。お前の権力は予同様なものだから、お前の信する所に随つて、法律を勵行するとも、加減するとも爲るがよい。……さ、握手を。……わしは窃と出て行きたい。わしは人民どもを愛してはゐるが、彼等の見せ物になるのは好もしくない。わるい事ではないが、例の大きな聲で、かしましく萬歳を叫びをるのを聞くのを、おれは餘り好かん。賢明な者なら、好かんのが當然だと思ふ。……改めて(二人に)機嫌よう。

アンジ 天上の神々が、こんどのお思ひ立をお護り遊ばされますやう！

エスカ めでたく御旅行遊ばされ、めでたく御歸國あらせられますやう！

公 ありがたう。機嫌よう。

公爵入る

エスカ (アンジエロに) 失禮ながら、立入つて御相談申したい。と申すのは、手前の位

地をとくと了解いたしたいので。或職務を承はつたが、それが如何いふ

権力のものやら、如何いふ性質のものやら、まだ了解してをりません。

アンジ 自分とても同様です。御一しよに奥へまゐつて、早速其邊の御熟談を遂

げませう。

エスカ お伴いたしませう。

二人ともに入る。

第二場 街頭

虚飾家の道樂者ルーシオ、(身分は士分)甲、乙二人の士分と共に出る。

ルーシ 此國の公爵も、他國の公爵も、ハンガリー王とは合體しないとなつた日に

やア、つまり、衆公爵大舉して一王を攻むといふ段取になるね。

甲 (わざと形式的に) あゝ天よ、願はくは、天下泰平たらしめたまへ！ 但しハン

ガリー一國は此限りにあらず！

乙 アーメン！

ルーシ (笑ひながら) 君の其下の句は、聖書の十誡中の一ヶ條だけを塗り消して、稼

ぎに出掛けたとかいふ例の神信心の厚い海賊にそっくりだね。

乙 「汝盜むこと勿れ」かい？

ルーシ うん、その一ヶ條を塗り消したんだ。

甲 あの誠を守つた日にやア、頭も、子分も、手も足も出なくなつちまふからね。 奴等は盗むのが目的だからなア。 だが、吾々武人仲間、食前の禱りに、「天下泰平たらしめたまへ」を賞翫しないものはありやしないや。

乙 あれを嫌ふやうな武人は無いやね。

ルーシ そりやさうだらうよ。 てんで君なんかは、さういふ席へ列つて禱つたことなんかからうからなア。

乙 禱らなくつてよ！ 十たびやそこいらはね。

甲 七五調の文句でかい？

ルーシ 七五なり、八六なり、どこの國の言葉なりだよ。

甲 「どんな宗旨なりだよ」だらう。

ルーシ さうさ、それに何の不思議があるものか？ どういふ論があらうと、お禱

りはお禱りだからね。 例へば、君なんぞは、今更如何お恵みを禱つて見たつて、つまり、碌でなし野郎に出来上ツちまつてるやうなものでね。

甲 さうさ、君と僕とでは、其間、鉄一挺を容るゝに過ぎずだ。

ルーシ 其通り。 恰も天鷲絨の織ツ端の、其中地に於けるが如しだ。 而して君は織ツ端なんだ。

甲 而うして君は正に天鷲絨だよ。 良い天鷲絨だよ。 三度筆りの特製天鷲絨といふ奴だよ、實際。 僕は、寧ろ英吉利羅紗の織ツ端になつた方がいゝね、君のやうに、佛蘭西天鷲絨式に、禿ちよろけに筆られる位ならばだ。……どうだ、痛切に徹へたかね？

ルーシ (冷然と) 痛切らしいね。 其言葉の意味を、君が如何にも痛切に感じてゐるのが解るね。 君の其自白によつて、僕は爾來祝盃は先へ飲むと定めたよ。 生きてる限り、君の飲みさしは飲むまいよ。

甲 (乙に) どうやら僕の方がやられたやうだね?

乙 うん、やられたね、... 君が感染してゐるか、してゐないかは別問題として
も。

ルーシ (二方を見て) 見たまへへ、あそこへ、其お療治専門のお内儀さんがやつて來
た!

甲 僕は彼奴の許で、病的な奴を買つたツケが、其揚句の果の勘定高が、とつと
う...:

乙 幾らになつたい?

ルーシ あてゝ見たまへ。

乙 一年ぶつ通して三千ドローラク(さんく道樂)と來たかね?

甲 うんにや、それ以上だ。

ルーシ 佛蘭西式の金貨あたたまを、も一つおまけに、と來たらう。

甲 君は、何かと言ふと、僕をわるい病ひにでも罹つてゐるらしく言ふが、大間
違だ。僕は大丈夫だ。

ルーシ 大丈夫か知らんが、健康といふ意味の大丈夫ではなくつて、徹底的といふ
意味の大丈夫だらう。骨絡みといふ奴だ。あんまり道樂が過ぎるから
だ。

酒場(私娼屋)の女主人、ミストレス・オーヴァーダン(意譯すると、稼ぎ過
ぎ屋のお内儀)泣きながら出て來る。

甲 (おかみに) や、どうしたね! お尻のどつち側が一等ひどいのだい、坐骨神
經痛は?

おかみ まアさ、まアさ。今ね、あそこで捕縛つてね、監獄へ引張られツてツた人
があるんですの。あの人なんかは、お前さんがたの五千人にも相當ふん
だ。

乙 だれのこつたい、えり。

おかみ クローディオさんのこつてさアね。

甲 なに、クローディオが監獄へ引かれた！ そんな事があるもんか？

おかみ だつて、さうなんですもの。取捕まつて、引張られて行きなざるのを見たんですもの。さうして、おまけに、此三日の間に、首をチョン切られるんですツさ。

ルーシ 冗談はよしにして、そんなことがあつてたまるもんか！ ほんとかい？

おかみ ほんとですとも。ジュリエッタさんを孕ませなすつた爲です。

ルーシ こいつア事實らしいや。クローディオは二時間前に僕に逢ふ約束をした。約束は嚴重に守る男だからなア。

乙 それに、先刻お互ひに噂してゐた一件にも、どうやら觸れてゐるやうだし。殊に、最近の布告とも符合してゐるから。

ルーシ さ、あツちへ！ 往つて實否をたゞして來よう。

ルーシオ 及び二人の武人入る。

おかみ こんな風に、戦争やら、時疫やら、絞罪やら、不景氣やらで以て、だんくゝと顧客が減ツちまふ。

と歎息する。おかみの番頭(酒場の給仕人)ボム・ボンペイ出る。

おや、どうしたの！ 何事歟あつて？

ボンペ 今、あそこでね、人が監獄へ引張られて行きましたよ。

おかみ さう。何をしたんだい？

ボンペ 女を。

おかみ だがさ、その科は何さ？

ボンペ 持主の有る河で鱒を掴んだてんでさ。

おかみ え、ちや、どこかの娘ツ子が赤んぼを生んだんだね？

ボンベ いゝえね、女の人が娘ツ子を生んだんでき。時に、おかみさんは、まだあの、お布令の事をお聞きなさらないんですか？

おかみ どうなとお布令？

ボンベ ギエンナの郭外の家は、是非、みんな取毀しツちまふといふお布令なんです。

おかみ さうして、郭内のは如何なるんだい？

ボンベ あれだけは種取に残しておくんでせう。同じくお取拂ひになるとこでしたのを、賢明な町役人衆のお調停で助かつたとかいひます。

おかみ だが、郭外の、こちとらの店だけは、すつかり取拂はなくちやならないの？

ボンベ へい、根こそげ。

おかみ まア！ 大變な政道向の改革だことねえ！ わたしの身は如何なるこつたらう？

ボンベ まアさ、御心配なさいますな。良い辯護士には依頼人が決して絶えないもんだと言ひまさア。場所が變つたつて、商賣を變へなざるにア及びませんや。番頭役は、やつぱりわツしが勤めまさア。大丈夫、々々々！ いづれお上でお酌量なさいませう。此お勤でお目をだいなしにしてしまひなすつた程の貴女だ。お上でも御斟酌なさいませう。

奥で人聲が聞える。

おかみ こゝに居たつて爲様がなからうぢやないか？ 退却まうよ。

ボンベ あ、あそこへクロロディオさんが來ます。典獄さんが監獄へ伴れて行くんですね。あ、さうしてジュリエッタさんも來ます。

二人入る。

典獄が犯罪人の若紳士クロロディオと其情婦のジュリエッタとを引立て、役人数名を伴れて出る。

クロロ おい、君、なせわたしを如是に世間へ曝し物にするんだい？ 行く筈の監

獄へ早く連れてつて下さい。

典獄

わたしが悪意でするんぢやありませんよ、お名代の特別のお吩咐です。

クロー

(獨白的に) かういふ風にして、お上といふ現世神が、われくの犯罪を鐵鎖

の目方に掛けて、償はせる。天の御言葉には……其嘉したまふ處には御

恵を、其嘉したまはざる處には、云々……が、天は常に公平なんだか

ら。

と諦めた思入。ルーシオと以前の甲乙と又出る。

ルーシ

おや、クローディオ、どうしたといふのだ！ どうしてそんな束縛に逢つた

んだ？

クロー

ルーシオ、あんまり放埒が過ぎたからだ、あんまり。過食が斷食の因にな

るやうに、放埒が過ぎると、つい束縛を受けるやうになる。人間は、鼠が

鼠取を貪つて食ふやうに、悪い事に渴々して、つい飲過ぎて死んぢまふの

だ。

ルーシ

引張られながら、そんな名文句

が言へるもんなら、僕なら、債主

の二三人も呼んで来て聽かせて

やりたいと思ふ位のもんだ。け

れども、正直なところ、監獄へ入

れられて賢人になるよりア、野

放しでゐて馬鹿遊びをつけた

いや。一體、クローディオ、何の

科だ？

クロー

それを口外するさへ、第二の科

にならうといふ程の罪なんだ。



ルーシ え、殺人罪？

クロー いゝえ。

ルー 邪淫？

クロー (歎息して) さう呼びたまへ。

典獄 (進み寄つて) さア〜！ もう行かなくちやいけませんよ。

クロー どうか、もう一言だけ。(ルーシオに) ルーシオ、一言だけ聞いてくれ。

クロー デイオとルーシオと一隅へ立離れる。

ルー 百言でも聴くよ、それが何か君の役に立つやうなら。邪淫がそんなに嚴

重しいのかい？

クロー わたしの場合、斯ういふ仔細なんだ。…わたしは、正しい契約の結果、

あのジュリエットと共寝をしたんです。君は彼女を御存じだが、彼女は立

派にわたしの妻です。只公然立つて披露をしなかつただけですよ。それ

は、あれの親戚の手に保留されてある持參金の額を、成るべくなら多くな
るやうにしたさに、二人の關係を、彼等親戚共が好意を吾々に持つやうに
なるまでは、隠しておいた方がよからうと思つたんだよ。ところが、二人
が内々で慰撫を盡し合つた其結果が、淺ましい符號で以て彼女の體へ書現
されることになつた。

ルー 子供といふ符號だらう？

クロー 全く然うなんだ、不幸にも。そこで新任の、あの、公爵のお名代が…こ

れは、とかく、新規な、びかくするものには附いて廻る缺點なのだ歟、或
は社會でものは、新任の主治者が威令の効果を驗すために、一角入れて乗
廻して見る馬なのだ歟、乃至職掌柄がおのづと暴政をさせるんだ歟、或は
俄立身であるが爲なの歟、それは斷定しかねるけれど…とにかく、新任
のお名代が、十九年間も塵埃まみれの鎧のやうに、壁に掛つたツきりで、使

はれたこともなかつた古い法律を、打棄られて眠入ッちまつてゐた法律をば叩き起して、つまり、名聞のために、新規に予に課したんだ。きつと名聞の爲にしたんだ。

ルー

きつと然うだ。すると、君の首は、大ぶ坐りがあぶなつかしい譯だね。乳屋の小女郎が戀をしてれア、随分其溜息で以て吹飛ばすかも知れない。公爵の後を追駈けさせて、歎願して見たまへ。

クロー

實は、さうしたんだけれど、お行方がわからない。ルーシオ、どうぞわたしの爲に、これだけの事をして下さい。けふ、妹が、尼寺で見習ひになる認可を受ける筈になつてゐるんだが、どうか彼女に、危険がわたしの身に逼つてゐることを知らせて、あの峻酷なお名代に歎願してくれるやうに、わたしに代つて、彼女に頼んで下さい。是非やつて見ろと命じて下さい。大丈夫、成功しさうだから。若いから、口をきかないでも男の心を動かす

魅力があるのに、論判に妙を得てゐる方だから、きつと成功するだらうと思ふ。

ルー

どうかさうしたいもんだ。で無いと、將來斯道は一切禁制の大へこたれとなるばかりでなく、君の一命を差込雙陸たつた一番のために空にしツちまふやうな情ない目を見んけりやならんからねえ。すぐに往つて來よう。

クロー

ルーシオ君、ありがたう。

ルー

二時間以内にね。

クロー

(典獄に) さ、お役人。行きませう！

皆々入る。

第三場 修道院

公爵とフライヤー宗の僧(托鉢僧)トマスと出る。

公爵

いや、上人。そんな勘ちがひはお止めなさい。色戀のへろへろ、矢なぞは、圓満な心を決して射貫き得るものではない。わしが内々で宿を乞ふには、逆上せてゐる若い者なぞの思ひもよらない、眞摯な、老實な目的があつての事だ。

僧

その仔細を承りたうございます。

公

上人、よく知つての通り、わしは平生から退隱生活が好きだ。あの徒錢を使つたり、おろかしく綺羅を被飾つたりして、若い者共の集る席なぞに臨むのをばくだらない事だと思つてゐる。で、わしは謹嚴な、品行のたしかな、卿アンジエロといふ者に此ギエンナの主權を預けて、當分ポーランド地

僧

方へ旅行中、と當人にも然う信じさせ、又治く世上にも言ひ觸らさせた。だが、上人、お前さんは、何故さうするかといふことが聞きたいであらう？ 承りたうございます。

公

此國に過去十四年來眠らせておいた種々の峻嚴な法律がある。それは、言は、剛情な荒馬共を制する爲の必要な轡でもあり、留手綱でもあるんだが、老衰した獅子が洞籠りをしたかのやうに、今では、とんと獲物漁りに出掛けない。甘い親父が、例の樺の枝の笞を、更に用ひないで、只威しに、子供らの目の前に押立て、おくと、遂には奴等が、それを怖がらないで、むしろ馬鹿にするやうになるが如く、法律とても、執行力がなくなる、廢滅に歸したも同様で、放埒な奴等が政道をないがしろにするやうになる。赤兒が乳母を撲る。秩序が悉く顛倒する。

僧

が、其お仕舞ひおきの御政道の執行は、御前さまのお心任せでございませう

のに。それに、御自身で遊ばされたはうが、アンジエロ卿の手でなさるよりも、人民が一段と怖がりませうに。

公

いやしく、あんまり怖がり過ぎるであらう。今まで寛大にしておいたのは、予の過失であつたんだから、今更嚴罰を下すのは暴虐でもあらう、許して行はせてゐる眞最中に罰を下さうといふのだから。だから、予はアンジエロに此役目を申しつけたのだ。彼れは、予の名の蔭に隠れて、思ひ切つたことが出来る、しかも予はまた姿を見せないから、誹毀の的ともならないで済む。そこで予は、彼れの政治振を見るために、お前がたの宗門の一僧であるやうに装つて、貴族や平民共を訪問したいと思ふから、どうか僧服を貸して貰ひたい。又托鉢僧らしくするには如何したらよいかを誨へて下さい。この事に就いての仔細は、尙いづれ詳しく話すが、さしあたり、一ヶ條だけ。……あのアンジエロは几帳面な男で、極めて謹慎深くつ

て、殆ど血が通つてゐるときさへも思はせない。食欲とても、麵麩を石以上に嗜むとは思はれない位だ。だから、権力が人の意志を變へるものなら、あの振舞が如何變るかといふ事を檢ようと思ふのである。

二人ともに入る。

第四場 尼 寺

クローディガの妹、イサベラと尼フランシスカと出る。

イサベ もう其他には、あなた方、尼御さんに、何にも特權はありませんのですか？

フラン それだけで以て澤山ぢやありませんかね？

イサベ はい、澤山です。もつと欲しいといふものではありません。クレイヤ上人さまにお仕へする尼としては、寧ろもつと厳格な御制限があつたばうが望ましいと存じますのです。

ルーシ (奥にて) もし〜！…此家の内に平安あれ！

イサベ どなたか呼んでゐます。

フラン 男子の聲です。イサベラさん、扉を開けて用向を聴いて見て下さい。わたしには出来ない、貴女なら出来る、貴女はまだ誓約してゐないから。誓ひをしてしまふと、尼公様のお前でなくちや、男子と口をきいちやなりません。其時でも、口をきくには、顔を見せてはならず、顔を出してゐれば、口をきいてはならないのですよ。(ルーシオ又呼ぶ)。又呼んでます。どうぞ返辭をして下さい。

と尼は入る。

イサベ 願はくば平和と繁榮とを！…どなたですり？

と扉を開ける。ルーシオ出る。

ルー や、これは、娘御さん、でせうね、多分、頬邊が蔷薇色なんだから。何卒ね

え、案内して、今度尼さんの見習になつたイサベラで娘に逢はせて下さい、クローディオといふ不仕合せな男の妹さんです。

イサベ え、「不仕合せな男」とはどういふ譯です？ おたづねするのは、實は、わたくしが其イサベラなのです、クローディオの妹なのです。

ルー お嬢さん、お兄さんからくれぐれもお言傳です。手短かにいひますが、お兄さんは監獄にお在ですぞ。

イサベ え、ッ！ 何の科で？

ルー さア、もしもわたしを裁判官たつたらば、罰の代りに寧ろ感謝をお受けなさうてな事をなすつたんです。情人を懷妊させたんですよ。

イサベ あなた、いゝ加減な事をおつしやらないで下さい。

ルー ほんたうです。平生は梟の眞似をして、戯けて、心にもない口をきいて處女たちを玩弄にするのがわたしのわるい癖ですがね、決して一概にそんな

事アしません。貴女はもう天へ昇つて聖者になつた人だ。現世を捨てて、不滅の精霊になつた人なんだから、殆ど聖者に對つたも同様、虚言ッばちは言へないと思つてまさア。

イサベ (むきになつて) そんなにわたしを馬鹿になさるのは、神さまに對しての大不敬です。

ルー とんでもないことを。簡単に言ふと、斯うです。貴女のお兄さんと其情人とが、抱つこしたんですよ。物を食やア肥るやうにね、又、種蒔から花時と順を追へア、何にも生えてゐなかつた畠から立派な收穫が提供されるやうにね、ついお肚が充實したんでさ、お兄さんの耕耘の效が現れてね。

イサベ ま、だれが兄の胤を宿したのですか？ 從姉妹のジュリエット？

ルー あの人は貴女のお從姉妹さんですか？

イサベ え、假の。仲よしづくから名を取り換へたりなんかするのは、學校通ひ

の頃に有りがちのことでせう。

ルー (うなづいて) 其方ですよ。

イサベ おゝ！ ぢや結婚させたはうが可いわ。

ルー そこなんです。實はね、公爵が甚だ不可思議な鹽梅式に當地を出發してしまはれたんです。多勢の侍士たちに……わたしも其一人だが……今にも戦争が始まりさうだと空だのめをさせておいて。ところが、要路の消息通に聞いて見ると、公爵の言ひ觸されたことは、實は、其本心とは大變な懸隔らしいのです。ところで、公爵の不在中、全權を以て國を治めるアンジエロ卿といふ人は、氷水のやうに血の冷い男で、情慾の淫らな刺激なんかは假にも感じるところでなく、學問や斷食で以て、すつかり性根玉を鍛ひ上げて、てんで本能の尖鋒なんか鈍ツちまつてゐる人間なんです。其仁が、久しい間、獅子の傍の谿鼠といふ風に、怖ろしい法律の傍を跳廻つてゐ

た世間の放埒者を威嚇すために、或古い法律を擔ぎ出して來たのです。其法律の明文のためにお兄さんが命を奪られるのです。其明文に照らして、引捉へて、飽迄も嚴重に世の見せしめにしようといふのです。もう迎も助かる見込はない、美しい貴女の歎願で、幸ひとアンジェロさんの心が和らぎやア知らんこと。貴女とお兄さんとの間のわたしの用てのは、これが眼



目です。

イサベ 是非、兄の命を奪らうといふのですか？

ルー もう既に宣告は済んで、聞けば、典獄が死刑執行令までも持つてるさうです。

イサベ おゝ、かなしや！ どうしよう！ 助けようとしたつて、どういふ力もわたしにやアありやしない！

ルー 有りツたけの方でやつて御覽なさい。

イサベ あゝ、力といつたつて！ 迎もわたしぢやア……

ルー さう危むのが、自ら裏切る所以です。やつて見ようといふ勇氣がないから、手に入る筈の利益までも失ツちまふのです。アンジェロ卿の許へ出掛けて往つて、男は、處女が願へば、まるで神さまのやうに物を與るもんだといふことを悟らせておやんなさい。處女ツ子が膝アついて、泣いて請願

する段となれア、何だつて叶ひまさアね、何でも自分の物のやうになツちまひまさアね。

イサベ 出来るだけやつて見ませう。

ルー だがね、早くなくつちやアね。

イサベ すぐに掛ります。只院母さまに此事をお知らせする間だけです。……ありがたうございました。兄へよろしくおつしやつて下さい。今夜すぐに何とか知らせてあげます。

ルー お別れします。

イサベ さよなら、御機嫌よう。

二人左右に別れて入る。

* * * * *

第二幕

第一場 代理官アンジエロの邸の廣間

アンジエロとエスカラスとが裁判官一人を伴つて出る。典獄、役人等及び侍者等續いて出て、三人の背に控へる。

アンジ 法律を案山子同様の物にしてはならない。いつまでも同じ格好のまゝで樹て、おくと、悪い鳥どもが、終には慣れて、怖がらないで、それを止り木にしてしまふ。

エスカ はい。ですけれども、大太刀で只一打に打殺してしまふよりも、よく切る奴で一寸切るくらゐにしておきたいものです。あゝ！ 助けて遣りたと思ふあの男の父は、非常に立派な人物でありました！ 閣下は方正謹

直なお方だが、閣下とても、若し時と場合とが折合ふか、又は場所と欲望とが一致するかしたならば、もしくは劣情が大膽に働いて、敢て其望みを遂げつちまつたといふやうな場合には、閣下とても、或はいつかは一度、今彼れに對して宣告なされる其事のために身を誤つて、罪人におなりなさることがないともいへない。それを御反省下されたい。

アンジ エスカラス、誘惑されるのと罪を犯すのとは別です。罪人に死刑を宣告する陪審官十二名の中に、或は、審判される其賊よりも重い罪を犯してゐる者が一人や二人はゐるかも知れない。けれども、凡そ政道は、公然獄に上る者だけを取扱ふのである。盜賊が盜賊を宣告しようとして、それは法律の知つたことではない。これは明々白々の理である。見附けたればこそ屈んで寶石を拾ふ、目に入つたからだ。けれども、目に入らなけりや、踏んで通つて、曾て念頭にも置かない。わたしに同じ弱點がありさうだか

らといつて、それが爲に、あなたが彼れの罪を輕減することは出来ない。が、若しも宣告者たるわたしが、實際同罪を犯した場合には、わたし自身の此裁判を適用して、毫末も假借しないで、わたしを死刑に處して下さい。：彼れは是非とも死罪です。

エスカ 御賢慮のまゝになさい。

アンジ 典獄はゐるか？

典獄 はい、これにをります。

アンジ クローディオの死刑は、今朝九時に執行させろ。司悔僧を呼んでやつて、覺悟をさせるがよろしい、彼れが一生の終りだからな。

典獄 入る

エスカ (傍白) あゝ、天よ、願はくば、彼れを赦させたまへ！ 又、われ／＼一同をも赦させたまへ！……罪惡の爲に立身する者もあれば、美德の爲に零落する

者もある。悪徳の藪からでも、うま／＼脱け出す者もあるが、たつた一度の過失の爲に罪人になつてしまふ者もある。

警保官エルボー(意譯、臆張聖平太)を先に、後人共數人、低能の紳士フロッス(意譯、水野泡成)とミストレス・オーヴァーメン(稼ぎ過ぎ屋の女主人)の番頭ボンベイとを伴つて出る。

エルボ さア／＼、引張つて来て下さい。淫賣屋でわるい事をするより外に仕草のない此奴らが、萬一にも國家の良民であるやうなら、國の法律は無いも同然だ。……引張つて来て下さい。

アンジ どうしたのだ! 其方の名は何といふのだ? 一體どうしたといふのだ?

エルボ 失禮でござすが、手前は、取るに足らん公爵の警保官でござす。姓はエルボーでござす。ひとへに御裁判を仰ぎ奉ります。すなはち、閣下の御面

前へ、名代の風俗の改善者を兩人まで引立て、参りましたでござす。

アンジ 風俗の改善者?! で、それはどういふ風の改善者だ? もしや、風俗の壞亂者ではないのか?

エルボ 失禮でござすが、實は、その、其邊はよくは存じないでござす。が、とにかく彼等は、頗る、その、堅實な惡漢でござして、苟も基督信者たる者ならば、是非具へてをらんければならん筈の、あらゆる不淨罪を缺乏してをるでござす。

エスカ (笑ひを忍びて) 頗る要領を得てをる。こりや大ぶ聰明な役人らしい。

アンジ こりや／＼。して、彼等の職業は何だ? ……其方の姓名はエラボーか?

……こら、エラボー、なせ返辭をせん?

ボンベ (つゝと前へ出て) へい、御返辭は出来ませんや。少々その、ベラボーさんでいらつしやいますからね。

アンジ (ポンペーを一睨して) 其方は何だ?

エルボ あの男は! ありや給仕人でござす。妓夫兼帯なのでござす。お取拂ひになつたと申す郭外の、さる悪所場の女主に奉公致いてをる男でござす。其女は、今は風呂屋を營業してをるでござすが、それがまた甚だよくない家でござす。

エスカ どうしてそれが解つたなり?

エルボ 閣下の前で、斷縁(断言)するでござすが、手前の妻が……

エスカ なに? お前の妻女が?

エルボ はい、妻がでござす。妻は、手前斷縁するでござすが、貞節無二の女でござわして……

エスカ おい、斷縁とは? 離縁か? 貞節無二の女を離縁するとは?

エルボ はい、いかにも、妻自らに於ても斷縁(断言)するでござすが、手前に於ても

斷縁しますでござす。若しあの店がでござす、若しあの店が淫賣屋でないとすれば、妻は實に情ないでござす、たしかに不良い店に相違ないでござすから。

エスカ 警保官、お前は どうしてそれを知つたんだ?

エルボ 妻から傳聞りました。妻は、……若し妻が、その、肉體的に沈没するが如き女でござしたらばでござす……あの店に於て、必ずやその、姦通、密通、其他種々の不潔な汚名を蒙らされたに相違ござせん。

エスカ 其女主とやらの爲にか?

エルボ はい、さやうでござす。稼ぎ過ぎ屋の女主の爲にでござす。なれども、(とフロッスに指さしなして) あの男の面體に唾を吐きかけましたので、それで喧嘩になつたでござす。

ポンペ へい、お失禮さまでござしますが、それアさうぢやアございませんや。

エルボ (立腹して) なに、此野郎! …ちやア、直にこいつらの前で、さうでない證據を擧げる。(とつい一息に怒鳴つたが、言ひちがへて無禮をしたのに氣が附いて、とぎまぎしく) へい、どうぞ其證據をお擧げ下さい。(と丁寧と言ふ)

エスカ (笑ひを忍んでアンジェロに) どうですな、間違だらけだ!

ボンペ へい、その御婦人は、大きなお肚をなすつて店へお出なすつたんでございます。お殿さまの前でですが、煮梅が是非貰ひたいとおつしやつて、へい。其時、店にやア、たつた二箇しかございませんでした。もう大ぶ前のこつてすが、水菓子皿に載せときましましたで、三片をこいらの皿で。御覽遊ばしたことがござんせう、支那製なんかちやアありませんや、けれども、中々良い皿なんで。

エスカ これく。皿のことなんかどうでも可いわい。

ボンペ へい、いかにも、成程、更に關係ありません。いかさま、御意の通り。では

早速要點を申し上げます。さて、申し上げます通り、エルボーさんの奥さんは、右申し上げます通り、御懷妊中でござり、ぼてれんなんでござり、煮梅を是非にとおつしやるんでござり、右申し上げました通り、皿にはたつた二箇しかござりませんでござり、こゝにお在のフロッスさんが、此お方が、只今申し上げました通り、他のを食ツちまつたんでござり、もつともお代は慥かに戴きました。ねえ、フロッスさん、只の三片だつてお返しなんかした筈はござりませんでござりませう?

フロス あん、返しやしない。

ボンペ よろしい。…で、(とフロッスに對つて) あなたが、其時、そこにいらしつて…え、覚えてお在ですか? …右申した煮梅の種をかりくと嚙破つていらつしやいましたでござりませう?

フロス あん。いかにも、さうしてゐた。

ボンベ ちや、よろしい。……そこで、わッしが……(と尙フロッスに對つて) 覚えてお在ですか? ……それ、だれさんとだれさんとは、到底例の一件の療治はむづかしい、十分食物療治で奴をお守りなされアともかくもでげすがツてね……

フロス 全く其通りだ。

ボンベ ちや、よろしい。そこで……

エスカ (こらへかれて) これく、まはりくどい奴だ。阿呆め! 要點だけを言へ。

エルポーの妻に對して、訴訟に及ぶやうな、どんな事をしたんだ? 其爲た事を事實通りに證明しろ。

ボンベ へい、でございますがね、敵手がをりませんちや、逆もその、實地通りにや

アその……

エスカ 實地通りにといふのではない。

ボンベ へい。でございますがね、あなたが證明が出来んことはございません。

どうかまア、あのフロッスさんのお顔附を御覽なすつて下さいまし、へい。これは一ヶ年八十ポンドのお方でいらッしやいまして、御親父さまは衆聖節にお亡くなりになりました。……ねえ、フロッスさん、衆聖節でござんしたらう?

フロス 衆聖節の前の晩だ。

ボンベ ちや、よろしい。……そこに事實の真相が有りさうでげす。……そこで、此

方が、右申し上げます通り、安樂椅子に掛けていらつしやいますと、……(と又フロッスに對つて) 葡萄の室でしたね、ありや? いつも貴下がお好きの、でしたらう?

フロス さうだ。あの室は表ざしきで、冬向に可いからなア。

ボンベ ちや、よろしい。……そこに事實の真相がありさうでげす。……

アンジ (こらへかれて) 露西亞の夜は一等長いといふが、この體では、露西亞だつて

も、夜が明けてしまふだらう。(エスカラスに)わたしは御免を蒙つて、此訴訟は貴下へお任せする。三人とも、しつかり答をおあてなすつて當然でせう。

エスカ さやう存じます。…御機嫌よろしうお寝みなさい。

アンジエロは入る。

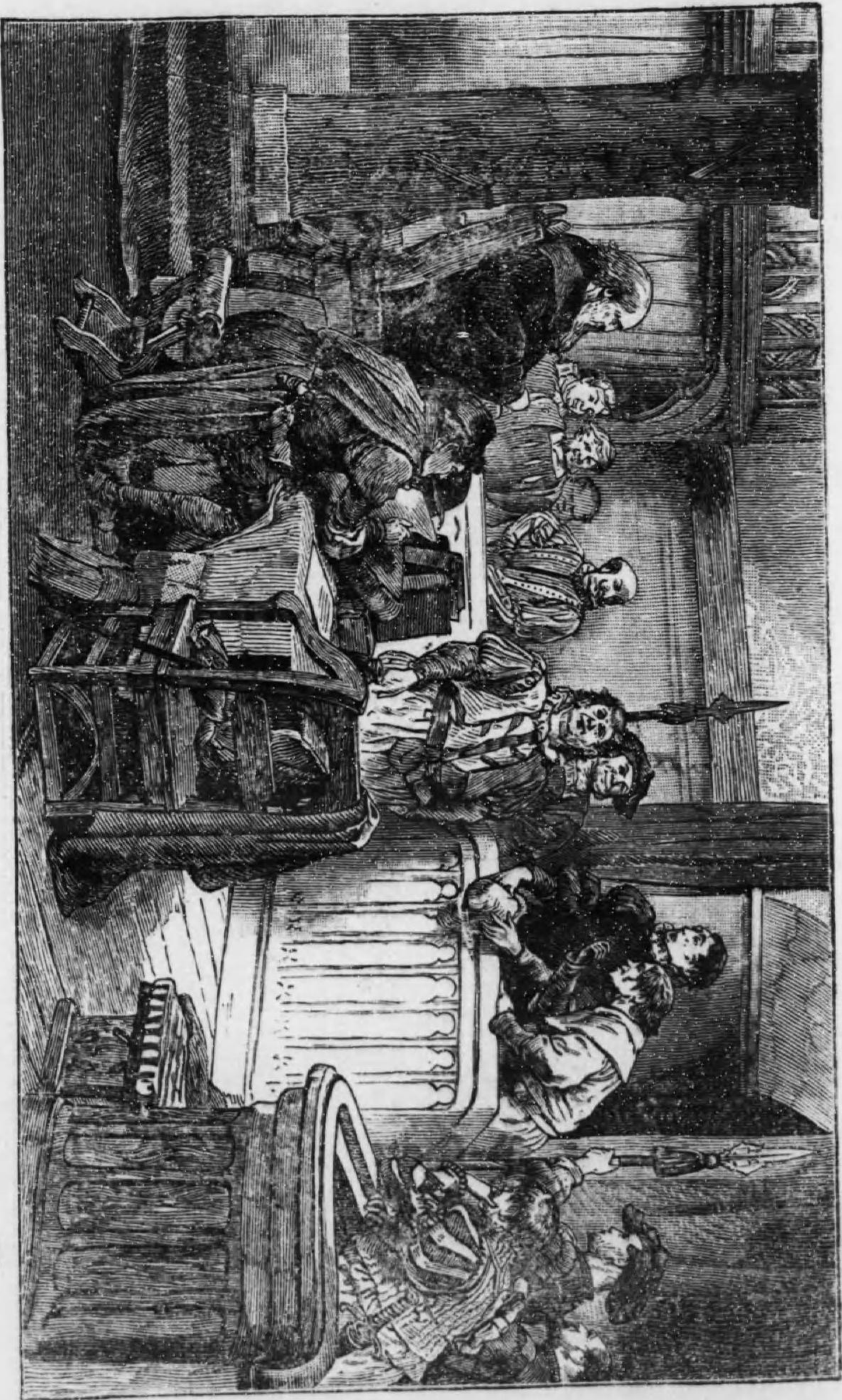
さア〜早く申せ。もう一度。エルボの妻女がどういふことをされたのだらう？

ボンベ へ、一度？ てんで一度だつて、何にもされたわけぢやございませんや。

エルボ (エスカラスに)どうか、その、あの男に(とボンベを指さし)此男が(とフロッスを指さし)手前の妻に對して如何いふことをしたかをお訊ね下されたい。

エスカ では、此仁が(とフロッスを指さし)其婦人に如何いふことをしたな？

ボンベ へい、どうぞ、此方のお顔を御ろんじやつて下さい。…フロッスの檀那、



殿さまの方を御覽なすつて。 貴下のお爲になることなんですから。……
(エスカラスに)よつく御ろんじやつて下さいまし。

エスカ うん、よろしい。

ボンベ 此方のお顔附に、何か御不都合なことがございますでせうか？

エスカ さ、別に無いな。

ボンベ 手前はお聖書さまに誓けて證言いたします、此方の身に附いた一等わるいこと、言へば、お顔附なんです。 ところで、若し此お顔が第一等のわるいとだしますと、此フロッスさんが警保官さんの御新造に不都合をお働きなさるなんてことア、有り得よう筈がないぢやござんせんか？
いかゞなもんでござんせう？

エスカ いかさま、これは道理だ。 警保官、お前さんの意見は？

エルボ え、失禮ながら、先づ其店は權威のかゝつた(嫌疑のかゝつた)店だといふこ

とを御承知下されたい。 次に、其男は(とボンベイを指さし) 其女主人も同様、

十分權威のかゝつてゐる人間だといふことを御承知下されたいでござす。

ボンベ とんだとを！ あの方の御新造の方が、どの位ワッしらより權威の勝つた

お方なんだか分つたもんぢやござんせんや。

エルボ (眞赤になつて)なんだと？ うそを吐け！ 此大うそつきの大悪黨め！ 妻

に、權威(嫌疑)が掛つたなんてことは、曾て無いコツた。 男にも、女にも、

小兒にだつて、曾て關係なんかしたことはない。

ボンベ (エスカラスに)へい、でもあの方とは御關係がございましたんで、御婚禮以前

に。

エスカ やれく！ どつちが正しいのかり？ 被告か、原告か？ (エルボに)關係が

あつたのかり？

エルボ (ボンベイを睨んで)うぬ、畜生！ どツ畜生め！ うぬ、ハニバルめ、人食ひ野

*11

蠻め！ 關係は有つたつてもな、かりにも權威なんぞの掛つたことはないぞ。閣下、結婚以前に於て、彼女になり、手前になり、かりにもさういふ權威が掛つたといふ事實がごわしたら、手前は取るに足らん公爵の役人たるにも堪へんもんだとお蔑視下さい。……やい、人面獣心のハニバルめ、證據を擧げる。擧げをらんと、毆打創傷の訴訟を起すぞ。

エスカ (笑ひを忍びて) ぢや、もしお前の横面でも毆つたら、誹毀の訴へでも起すか？
エルボ (二禮して) ありがたうごわす。其お言葉では痛み入ります。閣下、此人面獣心の奴を、どういたしたらよいでござせう？

エスカ 警保官、彼奴は、早晚お前さんに發見されさうな或犯罪を藏してをること
は明かだから、いよくそれが見附かるまでは、まア〜現状維持といふことにしておかうよ。

エルボ いや、これはどうも有りがたうごわす。(ボンハイに) やい、見る、人面獣心のめ！

とう〜やられをつた。けふからは現状維持だぞ。 現状維持に處せられ
たんだぞ。

と心地よげに言ふ。

エスカ (フロッスに) お前さんは何處で生れたのだ？

此時ボンハイうしろからフロッスを前へ突き出す。

フロス 此ギエンナで生れました。

エスカ お前さんの収入は一ヶ年八十ポンドか？

フロス 爾はア、さやうです。

エスカ ふん。……(ボンハイに) 其方の商賣は何だ？

フロッス うしろへ退る。

ボンペ 給仕人でげす。つまらん後家さん酒場の給仕人でげす。

エスカ 店の名は？

ボンベ 稼かせぎ過ぎ屋やでげす。

エスカ 其その女主人おんなしゆじんといふのは一遍べん以上縁附えんつきいたものか？

ボンベ へい、九遍くへん。とゞのつまり、稼かせぎ過ぎましたんで。

エスカ 九遍くへん！……フロッスどん、こゝへ、ずつと傍そばへ。(ボンベは又フロッスをエスカラス

の前まへへ突き遣やる)。フロッスどん、酒場さかばの給仕人きよしじんなどと知合しあひにならんがよろしいぞ。名詮みやうせん自性じしやう、彼等かれらの爲ために一生しやうを水泡すいぱうにしてしまひますぞ。退さがんなさい、

二度どとはこゝへ來こんがよろしい。

フロス ありがたうございます。手前てまへはいつも入はらん積つりで行いくですが、酒場さかばの

前まへへ行いくと、つい其積そのつりが水泡すいぱうに歸きするです。

エスカ むゝ。もうよろしい。さよなら。

フロッスはボンベに押おし出だされて入はる。

番頭ばんとうどん、こゝへ、ずつと傍そばへ。貴公きこうは名なは何なんといふ？

ボンベ ボンベいでげす。

エスカ 其他そのほかに？

ボンベ ボムといひます。

エスカ ボムとは尻しりといふことだ。いかさま、貴公きこうは尻しりが一等立派と、りつぱだなう。其意そのい

味みで貴公きこうは大ボンベいともいふべきだ。ボンベい、貴公きこうは妓夫兼帯きよふけんたいなら

う、給仕人きよしじんだなどと取繕とりつくろつても、つまり？ どうだ？ さ、眞實ほんとの事ことを言いへ。

さうした方が爲ためだぞ。

ボンベ へい、こんな下等げちやうな野郎やらうでございしますが、全まったくその、まだ生きてゐたいので

げして。

エスカ ボンベい、どうして生きてゐたい？ 妓夫きよふになつてか？ ボンベい、汝きよふの

其商業そのしやうはいをどう思おもふ？ 正ただしい商賣しやうはいだと思おもふか？

ボンベ へい、お上かみでお許ゆるしになりますれア。

エスカ お上ぢや許さない。法律上、許される筈はない。

ボンベ ぢや、お殿さまは、此國中の若い者を、馬と同じに、残らず去勢なさらうてんでげすかり。

エスカ そんなことはせん。

ボンベ ぢや、斯う申しぢや何でげすが、やツぱり衆皆やらかしまさ。淫賣女と破落戸のお取締りが肝腎でげす。さうなさりや、妓夫なんざ御心配に及びませんや。

エスカ ちようど今、結構な取締りの法が實行になりかゝつてゐる。それは斬り首と縊り首だ。

ボンベ さういふ罪人を、十年とつゞけて、斬り首や縊り首になすつた時分にア、あゝもつと頭が欲しいなてなお布令を、今にお出しなさりたくなりませうぜ。そんなお取締りが十年と此都で續きやア、わツしは素敵な一等邸を五坪三

片ぐらゐで貸附けまさア。其時まで生きていらつしやいましたら、ボンベイがさう言つたつくとおつしやいまし。

エスカ ありがたう。其豫言の禮に忠告しておくことがある。どんな訴訟に關してでも、二度と予の目に掛らんやうにしろ。今居る店の事でだぞ。萬一おれの目にかゝると、ボンベイ、おれはシーザーの役を勤めて、手きびしく汝を本陣まで攻め詰めるぞ。露骨にいふと、答だぞ。こんどだけは、退れ。

ボンベ 御異見下さいまして、ありがたうございます。(傍白)と言つたものゝ、それを守ると守らんとは、こつちの生身の都合次第、運次第だ。答？ まつびら御免だ。荷車を引く瘦馬なら、答で撲つもよからう、憚んながら、答でぶたれたぐらゐで商賣換へをするやうな弱蟲ぢやアねいや。

ボンベ イ入る。

エスカ エルボーどん、こゝへ、傍へ。警保官どの、こゝへ來なさい。……(エルボー前へ出る) 此市の警保官になんなすつてから、何年になりますなり。

エルボ 七ヶ年半でござす。

エスカ 老練らしいから、大ぶ久しく在職であつたらうとは想つた。まる七ヶ年?

エルボ と半ヶ年でござす。

エスカ やれ／＼! それは中々お骨折でござつたらう。さう長い間勤めさせるのは酷い。区内に適任の者が餘りをりませんか?

エルボ はい、全く、その、適任の者が少いでござす。選抜されても、とかく手前に代つてくれると申すでござす。で、幾らか金を貰つて、手前が何もかも勤めるでござす。

エスカ 区内の適任者といふのを、六七人、姓名を知らせて貰ひたいね。

エルボ 閣下のお邸へでござすか?

エスカ あ、宅へ。さやうなら。

エルボ 會釋して入る。

(判事に) 何時だらうなり?

判事 十一時でございます。

エスカ どうか宅へ來て、一しよに食事をして下さい。

判事 ありがたうございます。

エスカ クローディオの死刑は、氣の毒千萬だが、どうも致しかたがない。

判事 アンジエロ卿は峻嚴ですなア。

エスカ つまり是非に及ばんのである。慈悲とばかり見える慈悲は眞の慈悲でない。赦免は、とかく第二の累ひを育てる。けれども、可哀さうなのはクローディオだ! しかたがない。さ、ゆきませう。

皆々入る。

第二場 同じ處の他の室

典獄と一人の従者役の者と出る。

従者 只今は訴訟を聴いていらつしやいますが、もうすぐお出でになります。貴下の事を申し上げます。

典獄 どうかお願ひします。(従者役入る)。御意を承りたいものだ。或はお氣が和ぐかも知れない。あゝあゝ！あの男は、夢中でわるい事をしたやうなものだ。此過失だけは、齡にも、宗旨にもかゝはらんで、有りうちの事だのに、その爲に殺されんけりやならんといふのは！

アンジエロ 出る。

アンジ 典獄、何か用か？

典獄 クローディオは、いよく明朝死刑になるのでございますか？

アンジ さう申し附けておいたぢやないか？ 指令を受取らなかつたか？ なぜ改めて聞くのだ？

典 萬一粗忽をいたしてはと存じまして。お叱りを受けるかも知れませんが、往々執行後に、裁判官が宣告を後悔した例がございますから。

アンジ えいつ！それは予の責任だ。汝は職務を盡せば可い。でなけりや、辭職するが可い。汝が爲ないからと言つて、困らん。

典 どうぞ御勘辨を願ひます。産苦中の、あのジュリエットは、どう致したものでございませう？もう程がなさうでございませう。

アンジ もつと都合のいゝ處へ移せ。早くしろ。

従者 役又出る。

従 御宣告になりました男の妹だと申す者が拜調を願ひたいと申してをります。

アンジ 妹があるのか？

典 へい、さやうでございませす。大層品行のよい處女で、近々尼になると傳聞りました。もうなつたかも知れませせん。

アンジ むむ。通せ。

從者入る。

ちや、姦通をした女は別室へ移せ。必要なものは供給してやるが可いが、決して贅澤にするな。程合を見計らへ。

ルーシオとイサベラと出る。

典 御安泰に！

と會釋して去らうとする。

アンジ しばらく俟て。(イサベラに)よう入來。如何いふ用だな？

イサベ わたくしは閣下さまに悲しいお願ひがあつて參りました。どうぞお聴き

下さいますし。

アンジ ふん。其願ひといふのは？

イサベ わたくしが一等おそろしく思つてをりまして、どうかして嚴しいお所刑があれば可いと望んでをりました悪い事がございませす。で、それをば決して辯護しようなぞとは思はないのでございませすけれど、辯護せねばならぬのです、辯護しちやならないと思ひませすけれど、爲ようか爲まいかと心の中で争つてゐるんですけれど。

アンジ ふん。といふのは？

イサベ わたくしの兄が死刑の御宣告を受けましたのでございませす。どうぞ其罪だけをお罰し遊ばして、兄をばお赦し下さいませ。

典 (傍白) 神さまがお前に人を感動させる力をお授けなさるやうに！

アンジ 其罪を憎んで其人を憎むと言ふのか？ はて、罪は、どれもく、はじめ

からわるいことゝ定つてゐる。其わるいと定り切つてゐる罪だけを罰して、犯した當人を放任つておいては、わしの職務が立たん。

イサベ おゝ！ 厳しいけれども、成程、正當なお沙汰です！ ちや、兄はもう死にました。……お職務をお大切に！

とイサベラしほくとして直に引退らうとする。ルーシオ前へ出て遮る。

ルー (傍白) そんなこつちや不可い。もう一度。うんと頼むんだ。前へ突伏して、あの上被に絡み附くんだ。貴女は冷淡だから不可い。針一本貰ふんだつて、今のやうな生ぬるい口上ちや駄目でさア。……さアてば！

イサベ (急につかくと戻つて行つて) 兄はどうしても助かりませんか？

アンジ どうも爲やうがない。

イサベ いゝえ、閣下の御一言で以て助かりますんでせう？ さうして人間も、神

さまも、さういふ慈悲をわるいとは思しめさないでせう？

アンジ わしは助けたいとは思はん。

イサベ けれども、若し助けようとおぼしめせば、助けられませう？

アンジ おい。わしは心にもないことをすることは、決して出来ん。

イサベ けれども然うなすることは出来ませう、若し閣下がわたしと同じやうに兄を可哀さうだと思ひなさりさへすれば。さうしてそれは、世の害にはなりません。すまい。

アンジ 既に宣告を下してしまつた。もう遅い。

とイサベラめげる。

ルー (イサベラに傍白) 冷淡すぎるよ。

イサベ (勇氣を回復して) もう遅い！ いゝえく。物がおつしやられる以上は、それをお取消なさることが出来ます。なア、もし、偉いお方のお身に附いてゐ

種々の儀式や標號の中で、王様のお冠りでも、お名代の御劔でも、大元帥のお杖でも、裁判官のお制服でも、お慈悲といふことほどお身分にふさはしいものはありません。若し兄が閣下であり、閣下が兄であつたら、閣下は兄とおなじ心得ちがひをなさるかも知れませんが、兄は決して閣下のやうに、然う没義道ではないに相違ありません。

アンジ どうか歸つて行つてくれ。

イサベ あゝ！ 若しわたしに閣下の権力があつたら、さうして若し閣下が此イサベラであつたら、よもや斯んな風にはなりませんまい！ いゝえ、きつとわたしは、裁判官とは如何いふもの、罪人とは如何いふものといふことを知らせます。

ルー (イサベラに傍白) さうだ、そこだ、もつと切込んで。

アンジ お前の兄さんは掟に背いたのだから、辯護するのは無益だ。

イサベ あゝ、何て情ないことだらう！ ……だつて、人間と生れた者は、たれしもみんな一度は、其掟に背いたのでした。さうしてそれを罰しようとおぼしめせば、どうにでもなつたのを、神さまは却つてお救ひ下さいました。閣下のお身は如何なるでせう、萬一此上もない裁判官の神さまが、今の、其まの閣下を御裁判なさるやうであつたら？ おゝ！ それをお考へになつたら、閣下は、生れ變つたやうに、慈悲深いお言葉をおつしやらずにはゐられますまい。

イサベラ 次第に激昂する。

アンジ (なだめつゝ) まア、氣を鎮めなさい。お前の兄さんを死刑に處するのは、法律がするのだ、わしがするのではない。假令わしの親戚であらうと、兄弟であらうと、伴であらうと、法律を犯した者は同じ様に處分されねばならぬ。是非とも明日は死刑に行はなければならぬ。



イサベ え、明日？ おゝ！ そりやあんまり早急です。 助けて下さいますし、助けて下さいまし！ 兄はまだ死ぬ覺悟が出来てをりません。 料理に使ふ鳥だつても、季節を見計らつて殺します。 神さまへ献上するものを、自分らの喰物よりも粗末に取扱つて濟みませうか？ もし、御前さまも、考へて見て下さいまし。 こんな罪科で死刑になつた

者が、今までに一人だつてありますか？ 犯した者は、幾らもくゝありましたけれど。

ルー (イサベラに傍白) さうだ。 うまい〜！

アンジ あの法律は、眠つてはゐたが、死んではゐなかつたのだ。 最初あの法律を破つた者を、觀面に嚴罰しておいたならば、其後多勢の者が斯ういふ悪事をば犯すやうなことはなかつたであらうに。 とにかく、其法律が、今は目を醒して、浴く風俗を視察し、鏡で未來の事を觀測する豫言者のやうに、云の悪事は、今己に幾分かは生れ、又幾分かは、うつちやつておくと、おひおひ孕まれて、孵化つたり生れたりする虞れがある、けれども、今すぐに英斷すれば、増長する憂ひはなく、たゞちに終熄すると言つてゐるのである。

イサベ だつて、その、少しはお慈悲を。

アンジ 嚴正に處分するのが、最も多く慈悲を施す所以なのである。 罪人を其ま

ま放免すれば、後日更に、予の知らん何十人を苦めるやら圖られんから、そこで二度と同じ罪を犯させないために、第一回の際に處分してしまふのである。是非がないと諦めるが、兄貴の命は明期限りだ。諦めなさい。

イサベ　ちや、それで、はじめて此宣告をなさるんですか？ さうして兄が其最初の死刑になるんですか？　おゝ！　巨人のやうな大力量を有つておいでなさるのは名譽でせう、けれども其大力量をば、巨人と同じやうに酷くお使ひなさるのは、暴虐です、暴虐です！

ルー　(傍白)うまい〜！

イサベ　もし人の上に立つお方が、だれでもそんな霹靂(嚴罰)をお使ひなされることが出来るやうであつたら、天帝さまは少の間だつてお休息なさることは出来ませぬ、やくざな役人までが、又しても〜、雷を借り出さうとして

天を騒がすでありませうから！…あゝ、お寛大なジョーヴ神さま！　あなたは、おそろしい電光をお下し遊ばして、杖にもめげない、あの瘤々だらけの櫛の木をも引裂いておしまひ遊ばすけれど、あの属小いマートルをばお見のがし遊ばします。それなのに、人間は、ほんの一時の權力を授かつてゐるに過ぎないのに、傲慢な人間は、脆い〜硝子だと解り切つてゐる身とも知らずに、阿呆らしい悪戯を天の御前で働いて、天使が泣いてお在遊ばすのをも知らないでゐる、…人間が疝癩を起すと、天使が泣いて必死とお笑ひなさるとか言ふけれど。

ルー　(傍白)おゝ！　もつとやつたり、もつとやつたり。もう少しだ。大ぶ此方の物になりかけてゐる。

典　(傍白)どうかあの娘が成功すればいゝが！

イサベ　迎もわたしたちは、同胞分の人たちを、公平に捌くことなんか出来ませぬ。

偉いお方だと、活神さまを嘲弄したつても、あれは洒落だつたぐらゐで濟みますけれど、下々がすれば、罰當りだと言はれます。

ルー (傍) その通り〜。もつと〜。

イサベ 將校がたゞと、腹立まぎれの過言だと言つて濟むことも、平の兵士であれば、甚しい不敬罪だと見做されます。

ルー (傍) そんなことまで知つてゐるのかい？ もつと〜。

アンジ さういふ格言を予に對つて言ふのは、如何いふわけだ？

イサベ さア、お上のお役人がたは、たとひわるいことをなさればからつて、下々はちがひます、御威光で以て上手にそれを焼き消しておしまひなされることが出来ます。御自分の胸によく問ねて御覽なさいまし、兄と同じ不料簡をば閣下のお心が持つてをりはしないかと。萬に一つ、お胸の底に、さういふ天性のわるいお心がお有りのやうなら、どうぞ兄の命を奪るなんぞ

とおつしやらないで下さい。

アンジ (傍白) 道理なことを言ふ。つい種々に考へさせられる。……さよなら。

と行きかける。

イサベ もし、御前、ま、お待ちなすつて。

アンジ よく考へておかうよ。明日またお出で。

と戸口まで行く。

イサベ もし〜。賄賂を献上げます。もし、御前、お待ちなすつて下さい。

アンジ (戻りつゝ) え、なに？ 賄賂を？

イサベ はい、神様だつても、喜んで御一しよにお受け遊ばしさうな物を献上げます。

ルー (イサベに傍白) おや〜！ 何もかもぶちこはしツちまつたねえ！

イサベ たはいもない純金の貨幣だとか、人間の出来心で價格が殖えたり減つたり

する寶石だとかを献上するのでありません。誠心を籠めた處女の祈禱を献上するので、日の出ない前に天へ達くお祈禱を、精進潔齋して、一心に神さまにお仕へする清淨無垢な處女の祈禱を献上するんです。

アンジ (一寸間を置いてうなづき) むむ。明日お出でなさい。

ルー (イサベラに傍白) さア〜。上等！ 行きませう！

イサベ (アンジエロに) おかほりなう在せられませ！

と會釋して行きかける。

アンジ (傍白) 何卒！ と言はなければならん。變はるなと言はれても、どうやら

おれの心が變はりさうになつて來たから。

イサベ (戻りつゝ) 明日は何時ごろに伺ひませう？

アンジ 午後なら何時でも可い。

イサベ おかほりなう在せられませ！

イサベラ、ルーシオ、典獄入る。

アンジ (自問自答的に) いや、變はりさうでならん。お前の爲に。お前の其心だ

ての健氣さの爲に！……(愕然として) や、こりや、どうしたのだ？ どうし

たのだ？ あの女の故

か？ おれの心の故

か？ 罪は誘惑者にあ

るのか？ 誘惑される

者にあるのか！……や

ッ！……(と考へて) 彼女

の故ではない、彼女が

誘惑したわけではない。いや、予がわるいのだ。日向の堇の傍に横た

はつてゐる死骸のやうに、おれは段々と腐つて行く、同じ日當りで、堇は美



しく咲きはじめるのに……淫奔な女の爲よりも貞淑な女の爲に、つい情慾を挑發されるといふやうなことが有り得ることか。荒地や空地が幾らもあるのに、わざわざ靈廟を焼拂つて、そこに不浄場を設けようとするなぞとは！ あゝ！ けがらはしいくく！ アンジエロ、お前は、どうしたのだ！ 一體、どういふ料簡だ？ 淑女であるために、彼女を邪淫の川に供しようといふのか？ おゝ！ 彼女の兄を生かしておけ、生かしておけ。裁判官自身が竊盜を敢てする場合には、盜賊に十分の權威がある。……えッ！ 予は彼女に懸想したのか？ もう一度彼女に會ひたいと思つたり、彼女の目を見たいと思つたりするのは？ ま、おれは何を空想してゐるのだ？……（ふつと心附いた體で）おゝ、おのれ、老獪な悪魔め！ 聖者を陥れるためには、聖者を釣の餌に附けるのだな。美德を愛慕するのを附目にして、だんく罪惡の淵へと誘ふ、さういふ誘惑が一等危険だ。淫婦

なぞならば、たとひあの倍の强健さ、あの倍の美しさを以て迫つても、決して此心を動かす得ないんだが、あの貞淑な處女の美には、逆も克つことが出来ん。つい今日までは、色慾に溺れる奴等を見るたびに、不思議がつて、冷笑してゐたのに！

アンジエロ 入る。

第三場 監獄内の一室

左と右とより、托鉢僧に假裝した公爵と典獄とが出る。

公爵

御機嫌よう、典獄さんでせうな！

典獄

さやうです。何の御用ですか？

公

慈悲を本願とする吾等の貴い宗義を奉じて、此牢内の惱める精靈たちを見舞はうとて來ました。面會の上、例の通り、犯罪の性質をたづね、それぞ

典 相當の慰藉を與へたく思ひます。それをお許し下さい。

若しお望みならば、それ以上の御便宜をも圖りませう。……あ、あそこへ一人來ました。手前の受持の婦人です。若氣の過失で、名を汚しました。

懷妊してゐます、さうして孕ませた男は宣告されました。同じ罪を重ねさせるに適任さうな好い男です、たつた一度で死なせてしまふよりは。

ジュリエット出る。

公 (典獄に) いつ死刑になるのですな?

典 明日でせう。……(ジュリエットに) 別室の準備をして置いてあげましたよ。少し待つておいでなさい、今に伴れていつてあげます。

公 (ジュリエットに) 娘さん、犯した罪を後悔してゐますか?

ジュリエット はい。かういふ恥を受けるのは自業自得だと存じてをります。

公 其悔悟が確かか、確かでないかを、とつくり良心に糺問する法を教へてあげませう。

ジュリエット どうぞお願い申します。

公 お前さんは、こんどお前さんに迷惑を掛けた其男を、憎いとは思ひませんか?

ジュリエット はい、其男に迷惑を掛けました女をば、憎いとは思ひませんとおんなじに。

公 して見ると、お前さんがたの犯罪はお互ひごっこと見えますな。

ジュリエット さやうでございます。

公 それだと、お前さんの罪の方が男のよりも重い。

ジュリエット わたくしもさう存じて、後悔してをります。

公 それが當然です。が、萬一にも、此事のために恥をかいたからといつて、

(我身を怨まうとも、天をば怨むべきでないのに、) 愛敬し奉る神をば怒らせまわらすのを敢て介意はんと言はんばかりに、後悔さつしやらんやう

であるよ……

ジュリ 後悔してをります、たしかにわるい事なので、勿論自業自得だと存じてをります。

公 其料簡を變へなざるな。聞けば、相手の人は明日死なねばならないさうだ。これから往つて教誨を與へて來ます……神惠そもじの上にあれ！
ベネデシテ！

公爵入る。

ジュリ え、明日死なねばならない！ おゝ……いちのわるい法律！ 生中の情で、一思ひに殺してはくれないで、始終死ぬやうな怖ろしい目を見せつけられる！

典

あの男は氣の毒なことだ！

二人ともに入る。

第四場 アンジエロ邸の一室

アンジエロ出る。

アンジ 禱つてゐながら考へてゐるので、禱りと考へとが離れ々々になつてしまふ。内容の無い空言ばかりが天へ登り、心は舌とは別になつて、イサベラの事ばかりを想つてゐる。口の中や神の御名を、嚙んでゝもゐるやうに繰返してゐても、此胸の中や、猛烈な邪淫の念が、高波のやうに、高まつてゐる。きのふまでは大切に思つてゐた官職も、けふは讀み飽いた陳腐な格言のやうになつてしまつた。今が今まで誇りにしてゐた此位をも、此威嚴をも……人には言へないが……無駄に風に靡くあの無價値ない飾り羽根とだつて、景物まで添へて、取換へてしまひたいと思ふ位だ。おゝ、官職よ！ 格式よ！ 汝等は見せかけばかりの儀容や服飾で以て、馬鹿

者共を威嚇したり、聰明な手合までも騙したりしをつた！ あゝ、人間汝は飽迄も血と肉の俗物だ。悪魔の角をも、若しそれに天使とさへ書いてあつたなら、悪魔の有ぢやないやうに思ふだらう。

一 従者出る。

何だ！ だれだ？

従者 罪人の妹のイサベラと申す者が拜謁を願ひますが。

アンジ こちらへ通せ。

従者 入る

やツ、どうしたのだ！ なせ身體中の血が如是に心臓へ突掛けるか？ 心臓の作用も、手も足も、どこもかも、利かなくなつてしまひさうだ！ ……あ、ちようと卒倒者の周圍へ馬鹿な群衆が一度期に殺到して、空氣の流通を阻り、蘇生する筈の者をも助けぞこなはせるやうに、ちようと其様に、國

王に好意を有する愚民共が、非禮に當るとも察しないで、敬慕追従の意を表しようとして、我勝に、王の面前へ群り集る。…

イサベラ 出る。

どうしましたな？

イサベ 御意を拜承りにまゐりました。

アンジ (半分獨語的に) それは、問はないで、察してくれたならば有難からうに…
兄貴は助けられないぞ。

イサベ まあ！ (と言つたが、じつと観念して) 御機嫌よろしう！
と行きかける。

アンジ けれども、まだ暫くの間は生きてゐることが出来る。お前なり、わしなりが、その、何してゐる間は、生きてをられるが、…つまり、命はない。

イサベ 御宣告をお下しになりましたのですか？

アンジ さやう。

イサベ もし、いつ御執行になりますのです。長かれ、短かれ、それまでの間に、最期の心得ちがひのないやうに、覺悟をいたさせたいでございます。

アンジ なに！ おんな汚らわしい邪淫の罪を犯した者を！ みだらな快樂に耽つて、禁制の鑄型を濫用して、勝手に人間を造るのを赦すならば、既に造られた人間を勝手に自然界から除き去る罪をも赦さねばならん、どちらも同じやうに容易に實行の出来ることであるから。

イサベ 天上界では、さうお定めになつてもゐませうけれど、下界では……

アンジ

さうでないといふのかり。では、忽ち答に困らせて見せるぞ。これ、お前は、嚴正な法律の爲に兄の命を奪られるのを願ふか？ 又は！ 兄を救ふ爲にならば、兄の相手の女とおなじに、随分、その、たのしい、汚らわしい行ひに其身を抛つても介意はんと思ふか？

イサベ

閣下、靈魂を棄て、しまふ位なら、此身を棄て、しまひます。

アンジ

靈魂のことを言つてゐるのではない。止むを得ずして犯す罪は、数には入るが、勘定には入らん。

イサベ

何とおつしやいます？

アンジ

いゝや、保證はせんぞ、わしは何でも言つたことを取消すことが出来るから……此間に答へなさい。……わしが今、國家の法律の代辯者たるの資格で、お前の兄を死刑に處するといふ宣告を下しておきながら、助命したとしたら、如何だ？ それは一つの罪惡ではあるけれども、また慈悲でもあらうぢやないか？

イサベ

さうなすつて下されば……靈魂の危険を冒しても申します……それは決して罪惡ではありません、お慈悲でございます。

アンジ

靈魂の危険をさへも冒さうといふ決心、それこそ罪惡と慈悲とを均齊せた

ものだといつていゝ。

イサベ 兄の命乞ひをいたしますのが、それが罪悪でございますなら、わたくしは、その罪を悉皆此身に負ひます！ 若しも此願ひをお許し遊ばすのが、それが閣下の罪悪になりますなら、毎朝のお禱りに、それをわたくしの罪へ加へても、閣下のお責任にならないやうにいたします。

アンジ いや、まア聴きなさい。お前の言ふのと予の意味とは異ふよ。…何にも知らんのか？ 又は、故と外して、知らん振をするのか？

イサベ はい、何にも知らない不束な者だといふことだけは、よう心得てをります。それだけを、神さまのお庇で、心得てをりますのを、たつた一つの長所だと思つてをります。

アンジ (傍白のやうに) 眞聰明は、さういふ風に、自分で自分を非難する時に、特に利發に見える、ちやうど黒い布片で面を掩つてゐる美人は、顔を露出にして

ある美人よりも十倍も美しく思はれるやうに。…いや、なう、明白と解らせるために、露骨に言ふが、兄貴の命はないぞ。

イサベ さう。(と歎息する。)

アンジ 彼れの罪は、法律上、どうしても死刑に相當してゐる。

イサベ なるほど。(と又歎息する。)

アンジ 彼れの命を救ふ法は他にはない。…其法も、他の法も、わしは許しはしないのだから。けれども、かりに、無益な喩話として言へばだ、…假にお前に、彼れの妹たるお前に、さる仁が想ひを懸けたとする。其仁は、裁判官に信用が厚いとか、又は自身の位置が高いとかいふ關係上、國家の土臺石たる法律の束縛からでも、随分、お前の兄貴を救ひ出すことが出来る仁だとする。さうして其仁に頼るより他には、現世では、救ふ道がないとする。たゞし、それが爲には、其仁にお前が大切な肉體を任せてしまはねばなら

ない、でなければ兄貴は逆も助からんとしたならば、お前は如何する？

イサベ たとひ兄の爲にだつて、自身で忍び得ないことは出来ません。と言ひますのは、若しわたくしがお刑罰を受けるとしたら、どんな厳しい笞の傷痕をも連続つた紅玉か何ぞのやうに思つて、又、打殺されるのを待焦れてゐた寢床に就くやうにも思つて、決して此肉體は汚しません。

アンジ ちやお前の兄貴は死なねばならん。

イサベ その方がようございます。一思ひ死んだほうが優しです、兄を助けようために妹が永劫に死にますよりは。

アンジ お前は予の宣告を酷い、殘忍だと言つたつけが、さういふお前こそ殘忍ぢやないか？

イサベ 汚はらしい方法で助かると公明正大の御赦免とでは全く別々の事です。天下晴れてのお慈悲と邪曲な身請沙汰とは一しよにはなりません。

アンジ 此間うちは、お前は頻に法律をわるくいつて、壓制だの、暴虐だのといつて、兄の失行は罪惡といふよりも寧ろ道樂たるに過ぎないといふ風に辯護してゐたやうであつたに。

イサベ おゝ！ 御前、堪忍して下さいまし。どうかすると、わたくしどもは、欲しい物を手に入れたいばつかりに、つい心にもないことを申します。眞底忌み憎んでゐることをも、眞底可愛いと思ふ人の爲には、恕したくもなるのです。

アンジ われ／＼はみんな脆い者だ。

イサベ ですから、若し兄だけがあゝいふ不埒を犯たのですなら、あなたがたの弱點を有つてゐるのが兄ばかりですなら、……御誅戮なさいまし。

アンジ いゝや、女とても脆い者だ。

イサベ はい、硝子の鏡のやうに脆い者です、姿を造るのも、それを壊すのも速いあ

の硝子の鏡のやうに。……あゝ、女といふもの！ おゝ、神さま！ 男は勝手に女を利用して、あなた方の御製作を毀ひます。……はい、わたくし共を十層倍も脆い者のやうにおつしやりませ。成程、わたくしどもは、此皮膚が柔かいやうに柔かくつて、つい人の自由になります、欺されます。

アンジ さうだらうと思ふ。女たるお前自身の其證言がある以上……人間はたれしも不心得の爲に身を誤らない譯には不能い者だと予は假定するから。……今のお前の其言葉を差押へておいて、予は無遠慮に言ツちまふが、有りのまゝが可いよ。と言ふのは、女でゐた方が可い。それ以上となつては女ぢやない。若しお前が女なら、外部の證據からは、たしかに然う見えるが、果して然うならば、今こゝで、指定通りの制服を被て見せて貰ひたい。

イサベ (不審さうに) わたくしには二種には口は利けません。御前さま、どうぞ先刻の通りのお言葉でおつしやつて下さいませ。

アンジ では、はつきり解るやうに……予はお前を戀してゐるのだ。

イサベ (じつと敵手の顔を見て) 兄がジュリエットと戀をしましたので、それで閣下は、兄を死刑にするとおつしやるではございませんか？

アンジ イサベラ、お前が予の言ふことを聞きさへすれば、死刑にはしない。

イサベ (信じかれて) あなたはお徳の高いお方ですから、そんな事をおつしやつて、人をお試し遊ばしても、お名の汚れにも何にもなりませんわねえ。

アンジ いゝや、信じてくれ、予の名譽に掛けて、眞實の要求を言つてゐるのだ。

イサベ えッ！ (と始めて呆れて) そんな要求をする人に何の名譽があらう！ 何が信ぜられよう！……あゝ、外面ばかり、外面ばかり！ (と退りながら)……わたしは此通りを世間へ言ひ觸らします。待つておいでなさい。……さ、兄を直に赦すといふ指令書をお書きなさい、さうでなくば、わたしは、大きな聲をして、此事を世間へ吹聴します。

アンジ

(冷然として) だれがそれを事實だと思ふものか? 嘗て汚されぬ予の名前、厳格な予の生活、公爵の名代たる予の職權、それらを楯にお前の言ふことを説破してしまふから、お前は忽ち言句が詰つて、譏誣者、中傷者とばかり疑はれることになる。斯う一旦乗りかけた以上は、もう此心の駒の手綱は弛めない。此するどい欲望に對して、諾と言ひな。おい、内々は望んでゐながら、何もあゝのかうのと體裁ぶつて、うちくと羞恥んでゐるには及ばん。わしの言ふ通りに身を任すか、否といへば、兄の命がないばかりでなく、その無情さへの面當に、わざと長い間苦しませてから殺すことにする。明日までに返辭をしない、返辭をしないと、今の此感じのまゝ、兄へ酷くあたるぞ。其方は其方で、勝手に何なりと言ひ觸すがいゝ、眞實の事を言つたつて、虚言で顛覆して見せる。

アンジエロ 入る。



イサベ

(絶望して) あ、だれに訴へたらいいだらう? この通りに話したつて、だアれも事實には爲ないに相違ない! おゝ、おそろしい口! おなじ一枚の舌で、人を生かしてもすれば殺しもする。其舌一枚の力で、法律をも自分の心のまゝに追ひ使ひ、邪をも非をも上手に釣寄せ、自分の情慾の餌食にする! ……兄さんの許へ往かう。一旦の情慾のために心得ちがひをお

爲だつたけれど、氣位が高くて、恥を知つてゐる兄さん、二十たび首を切られなくちやならないツたつて、妹をそんな汚らはしい目に逢はせるよりか命を棄てるとお言ひに相違ない。……ちや、イサベラ、お前は是非とも貞操を守つて、兄さんを見殺しにお爲。貞操といふことの方が、同胞よりも大切です。……ともかくも兄にアンジェロの要求を話して、覺悟をさせることにしよう、安心して死なれるやうに。

イサベラ 入る。

* * * * *

第三幕

第一場 監獄内の一室

托鉢僧に假装した公爵を先にクロロディオと典獄と出る。

公爵 では、お前さんは、アンジェロ卿から御赦免が下るだらうといふ望を有つてゐなさるのか？

クロロ 不幸を治す薬は、只もう望より外にはございませぬ。……生きられるかも知れんと望みつゝ、死ぬ覺悟をしてをります。

公 死ぬと覺悟してしまひなさい。さうすれば、死なうとも、生きようとも、すつと氣が樂になる。生命に對つて、斯うお言ひなさい。……おれが汝を亡したつて、それは阿呆者ばかりが保留してゐたがる物を亡したに過ぎな

い。汝は一呼吸なのだ、絶えず月や星の祟りに感應して、刻々に此假の宿の肉體を惱亂させる。全く汝は死の神の玩弄物だ。人間は、幾ら死を避けようとして逃げ廻つたつて、やつぱり死の方へと走つて行く。汝は高尚なものぢやない。汝の周邊を飾る者は、みんな下品な代物だ。汝は決して勇敢でもない、つまらん長蟲なぞの孱弱い針に刺されるのをさへ怖がる。一等けつこうな安息は睡眠だ、だから汝は屢々求めても眠る。それなのに、眠りに外ならん死といふ者を甚しく怖がる。汝には自存力はない、土から出来る幾千粒の物のお底を蒙つて、生きてゐるのだ。が、生きてゐるのは幸福ではない。なぜなれば、手に入らんうちは、それを得ようとして躐き焦り、手に入ると、忘れてしまふ。それから、いつ氣が狂ふか解らん。月の盈虧に感應して、人間の氣は妙に變るのだから。たとひ富んでゐても、貧乏同然だ、なぜならば、生中の富の重荷を、金の延棒を負は

されて脊の曲つてゐる驢馬のやうに、長旅の間かつぎ廻つて、死んで辛とそれを下すのだから。人間には一人の眞友もない。子と名宣る身肚を痛めさせた血の餘りまでが、何故もつと手取り早く親父を形附けてしまつてくれないかと言つて、痛風や泡疹や佝僂質を怨み咀つてゐる。人間には、若い時も老年もない、いや、どつち附かずの午睡の夢心地で一生を過してしまふ。若い間は目下に見られて、よぼくの老人に剩り物をねだつて過し、年を取つて物持になつた頃には、熱も愛も美もなくなり、手足も利かず、寶の持ち腐れ。これでも、生きてゐるといふことに、何か有りがたいことがあるかい？ まだく、今言つた以外にも、幾千の、死ぬほどの苦があるか知れない。それなのに、人間は死を恐れる。死ねば、一切が滑かに、平穩になつてしまふのに。

クロー
ありがたうございます。生中生きようと思ふのは、死を招くので、死なう

とするのが生きるのだと悟りました。もうちゃんと覺悟をしてをります。

此時戸外にて

イサベ もしく！……こゝに平和あれ！ 福ひあれ！ 善天使降らせませ！

典 どなた？ お入りなさい。其好意の禱りに對して、歓迎せねばなるまい。

と戸外へ行く。

公 では又直にお見舞いませう。

クロー ありがたうございます。

イサ (戸外にて) 用といふのは、只一言二言クローディオに話したいことがある

のです。

典 ようお出で。(トイサベラを室内へ導きながら) もし、クローディオさん。お妹さ

んです。

公 典獄さん、一寸一言だけ。

典 どうぞ御遠慮なく。

公 (小聲にて) あの二人の話を隠れてゐて聴きたいから、よろしく頼みます。

典 典獄吞込みて、公爵を伴ひ、物隆へ入る。以下、公爵は折々物隆

から顔を出して様子を探る。

クロー 妹、何か吉い左右だらう？ え？

イサベ さア……吉い左右です、それはく大變に結構なお知らせなの。アンジ

ロさまが、急に天へ御用があるので、兄さんに其お使ひをお命じになるの

です。で、あなたは彼地に永住なさるのださうです。ですから、大急ぎで

準備をなさい。明朝がお出發の日です。

クロー 外に爲様はないのか？

イサベ ありません。首を繋がうとすれば、心臓を引裂かなけりやなりません。

クロー でも、何か助かる途があるのか？

イサベ 兄さん、有ることは有ります。お役人にも没義道な慈悲はありますから、お願ひなさりや命だけは助かりませうけれど、死ぬ其間際までも束縛され

ます。

クロー 終身禁錮か？

イサベ え、全く。終身禁錮なのです。全世界があなたの領分であつても、身動

きが出来ないやうになります。

クロー だが、どんな鹽梅式に？

イサベ それに服従なさりや、あなたは名譽を剝取られつちまつて、まるで皮を剝

かれた裸木のやうになります。

クロー といふのは？

イサベ お、クローディオ！ わたしや心配になつて来た。あなたは若しや、熱病

の苦みをして、生きてゐたいのぢやなくつて？ 永遠の名譽よりも六年

か七年の命が欲しいのぢやなくつて？ え、死ぬ氣になれない？

問。 クローディオ顔を背ける。

死ぬのは、想像してゐる間が怖いのです。わたしどもが踏みにじるあの詰らない甲蟲だつて、死ぬ時の感じは巨人の死ぬのと些少も變りはないのです。

クロー お前は何故わたしを然う辱しめるんだ？ 女なんかには言はれて決心する

わたしだと思つてるのか？ 是非死なゝきやならんと思や、わたしは昏闇に就くの

を花嫁に會ふやうにも思つて、兩手で以て抱きしめするよ。

イサベ それでこそ兄さんです。それが、取りも直さず、お墓の中のお父さんのお

言葉です。兄さん、どうしても死ぬ覺悟をなさらなけりやなりませんのよ。卑劣な事なんかして、命を助からうとなさるよりは、覺悟をなすつた

方がすつと立派です。あのお名代は、外面だけは嚴格な聖人顔をして、沈着いた口振で、若い者を頭ごなしに叱りつけて、鷹匠が鳥を逐ふやうに、不品行を排斥してゐますけれど、あれで、あの人は悪魔なんです。あの穢い肚の中の物を吐かせたなら、地獄までもつゞく、底の無い、穢い池が出るでせう。

クロー あの賢人のアンジエロが！

イサベ おゝ！ あの顔は人を騙す悪魔のお仕着です。あさましい體を賢人めいた飾りで掩つてゐるのです。え、クローディオ、あなた解つて？ あの男の言ふことをわたしが聽けば、あなたを救すといふのです。

クロー おゝ、とんでもない！ そんなことは出来ない！

イサベ あの男は、わたしがさういふ穢らばしい不埒を承知さへすれば、あなたに幾らでも不埒をさせておかうといふのです。今夜が、その、言ふのも穢ら

はしい事をわたしにさせようといふ時なのです。それをしなければ、明日あなたは殺されるんです。

クロー そんなことをお前にさせられるもんか！

イサベ おゝ！ 命だけで済むものなら、わたしは、針一本棄てるやうに、あなたの爲になら、命を棄てます。

クロー (妹を抱きしめて) イサベラ、ありがたう！

イサベ クローディオ、明日は死ぬんだ、と覺悟をなさい。

クロー そんな事をする男に人情があるといへるか？ まるで法律を泣かせるといふもんだ、いよくそれを厲行するとなれア。……決して罪惡ぢやない。罪惡であるにしても、七大罪惡の中では一ち軽いんだ。

イサベ え、何が一ち軽いの？

クロー よしんば大罪であるとしたつて、神さまは賢明であらせられるから、ほん

の一時の心得ちがひを永久にお罰しなさるといふやうなことはなからうぢやないか？……(絶望的に) おゝ、イサベラ！

イサベ ま、兄さん、何をいふんです？

クロー 死ぬのは怖ろしいこつた。

イサベ だつて、恥をかいて生きてゐるのは淺ましいことです。

クロー だけれど、死んでしまつて、何處だか知れない處へ往くのは！ 冷く動か

なくなつちまつて、腐つちまふのは！ 此、温く生きて動いてる肉體が

土團子のやうになつちまつて、愉快なことに慣れてゐた此たましひを火の

海に浸らせたり、體中が凍え互る氷の地獄に押込めたり、中に垂下つてゐ

る地球の周邊を、目に見えない旋風に滅多無性に吹廻されたりするのは！

人間の、滅法界な當推量も及ばんやうな苦痛をするのは！ おそろしくて

堪らない！ 老衰や病苦や貧窮や禁錮が人間に課する一等厭はしい、一等

辛い現世生活だつて、死んじま

つてからの怖ろしさに比べれア

極樂だ！

イサベ (呆れて) あらまア！ あら！

クロー 妹、どうぞわたしを生かしたい

てくれ。兄の命を助けるため

にしたことなら、どんな罪惡だ

つても、自然がそれを緩和して

美德にする。

イサベ (義憤を起して) おゝ、人非人！ 卑

怯者！ なんて情ない、破廉恥

な人です、あなたは！ あなた



はわたしに不正いことをさせて、男一疋にならうといふのですか？ 現任
の妹を辱しめて生きてようてのは、邪淫も同然ぢやありませんか？ (煩悶)

あゝどう思つたらよからう！ どうぞ、お母さんがお父さんに
對して、夢にも不都合なことをなすつたてな事のごさいませぬやうに！ か
りにもお父さんの血統に如是な歪んだ恥知らずが生れる筈はないんだけ
れど……(クローディア)これが縁切の言葉です。死んでおしまひなさい！

わたしの屈辱であなただを運命から救ふことが出来ても、わたしは救ひませ
ん。わたしはあなたの死ぬのを千萬返も禱ります。あなたを救ふために
は、只の一言だつて言ひませぬ。

クローディア まアさ、さういはないで、聽いてくれ。

イサベ いゝえー、いやですくく。あなたは出来心で悪い事をしたのぢやな
い。それが専門なんだ。あなたに深切を盡すのは、わるい事の手引をする

やうなものです。あなたは早く死んだほうが優しです。

と行きかける。

クローディア まアさ、聽いてくれ、イサベラ！

此時、以前の假装のまゝにて公爵又出る。

公爵 若い尼御さん、一寸お話がしたい、一寸。

イサベ どういふ御用です？

公 お暇があるなら、只今少々あなたとお話がしたい。その、わたしが承り
たいと思ふことは、あなたの爲にもなることです。

イサベ 暇といつてはありませぬから、無理に用事をさしおいてなればお話は
出来ませぬけれど、暫時ならよろしうございます。

一隅へ歩いて行く。

公 (クローディアに)これ、お前さんとお妹さんとの問答は、彼方で聽いておました

が、何の、アンジェロさんに、妹御を墮落させようなんて目論見があらう筈はない。只その節操の有る無しを見別ける力を練習するために、一寸妹御の氣を引いて見られたのに相違ない。ところが妹御は、女の道をほんとに心得でござるので、立派に拒絶なすつた、それは先方でも、きつと喜んでをられるに相違ない。わしはアンジェロさんの司悔僧なのだから、此判断に間違はない。だから、死ぬ覺悟をなさるがよい。當にならんことを當にして、氣を弛めてはいけない。あしたは死なねばなりませんぞ。さ、膝を突いて、覺悟をなさい。

クロー

妹に詫をいひませう。……

イサベラの方へ進み行きて、膝まづき、其手にキツスする。さうして公爵に、

わたくしは既う此世に愛想が盡きツちまひました、早く此世を離れたうご

ございます。

其氣を變へないでゐなさい。さよなら。……

クロー アイオ 入る。公爵 下手へ行く。典獄 又出る。

典獄さん、一寸お話がある。

何の御用です？

公 來なすつたばかりだが、往つて貰ひたい。あの娘とわしだけを、暫時ここにをらせて貰ひたい。二人同席したからとて、更に不都合はないといふことは、此服装と此心とでお約束します。

典 ようござす。

典獄 入る。イサベラ 進み出る。

公 あなたを美人にお造りなされた御手が、あなたを善人にもお造りなされた。美なるも、善の足らざらんには、其美久しく善なる能はずとある。けれど

も、美德があなたの本来性である以上、あなたの肉體は永久に麗しう保たれることであらう。… アンジェロさんがあなたに無理をいはれたことは、圖らずも聞きました。が、世間に例のないことでもないから、あの人にさういふ不心得のあるのを強ち愕きもしません。あなたは、如何あのお名代に返辭をして、兄さんを救ひますか？

イサベ 只今其返辭を爲に行かうとしてゐる處です。掟に背いて子供を生む位なら、掟通りに兄を死なせたはうがようござんす。… だけれど、おゝ！ ほんとに公爵さまは、すつかりあの人に騙されてしまつておいでなさるので。公爵さまがお歸りになつた時、お目にかゝれるものなら、わたし、一かばちか、何もかも申しあげつちまふ積りです。

公 なるほど、それもよからう。が、今のまゝでは、そんな覺えはない、只あなたの氣を引いて見たばかりだ、と彼仁は言ひぬけるに相違ない。だから、

わしが今忠告することをようお聴きなさい。どうかして世の爲、人の爲と思ふ所から、一つの良策が心に浮んだ。其策によれば、わたしは信じます、ある一人の虐待された婦人も助かり、お兄さんも法律を犯した罪をまぬかれ、あなたも大切な操を汚さないで濟み、又公爵さまでも萬一此事件が耳に入るやうな破目に歸國されるとしても、大きに満足せられるであらうと信じます。

イサベ もつと詳しくおつしやつて下さい。わたしはどんなことでもします、自分がか心に疚しいと思はないことですから。

公 淑徳は勇敢なり、善良は曾て恐れずとある。あなたはマリヤナといふ婦人の噂を聞いたことはありませんか？ 難船して死んだフレデリックといふ偉い軍人の妹さんの噂を。

イサベ はい、聞いたことがあります、評判のよいお方でした。

公 おの婦人とアンジェロさんとは結婚する筈でした。豫て堅い約束があつて、婚禮の日までも定つてゐたところが、まだ其日の來んうちに、兄御のフレデリックさんが難船せられ、さうして、其船と共にお妹さんの持參金が海底に沈んでしまつた。それがやがて、其氣の毒な婦人の偉い不幸の原となつた。婦人は、それが爲に、立派な、有名な……妹思ひの、深切なお兄さんを亡したばかりでなく、自分の運命の筋骨ともいふべき化粧料までも亡してしまひ、かて、加へて、許嫁の御亭主であつたあの賢人らしいアンジェロさんまでも失してしまつたのです。

イサベ まあ、それは事實ですか？ アンジェロさんがあの方をそんな目に逢はせたくんですか？

公 泣きの涙に暮れてゐるのを、其儘に振棄て、慰めようともせず、剩へ、不品行があつたなぞと難癖を附けて、約束を鵜呑にしてしまつて、つまり、少

しもかまひつけず、けふが日まで、あの婦人に泣き通させ、しよつちう其涙で洗はれる程になつてゐながら、まるで石の像も同様、哀れとも何とも思はんのです。

イサベ ま、そんなお氣の毒な方は一思ひに死なせてあげた方が、どんなにか功德でせう！ そんな不道人を平氣で生かしておくといふのは、ま、何といふ腐敗した世の中でせう！ ですが、どうすりや、その方のお爲になることが出来ます？

公 さ、其裂けた縁をあなたが容易く結び直すことが出来る、のみならず、それがあなたの兄さんの命を救ふことにもなるし、又あなたの不名譽を救ふことにもなる。

イサベ どうしてイサベ？ ねえ、おつしやつて下さい。

公 今お話しした其處女さんは、今でもまだアンジェロさんを戀ひ慕つてゐるの

です。それほど没義道なことをされれば、戀も情も冷めさうなものだが、譬へば、塞かれた流れの尙と激するやうに、戀ひ慕ふ情がますます募るばかりなのです。で、あなたは、アンジェロさんの許へ往つて、いかにも要求に應じさうに見せかけて、何もかも先方の言ふまゝに承諾するのです。只便宜上、これだけの條件を約束なさるがよい。先づ、長くは留まつてをられないといふ事、時刻は寂とした眞昏闇でなくては不可いといふ事、それから場所も都合の良い處といふ事。それらは勿論異議のないこととする。……それから後はとんく拍子だ。……今言つた不幸な娘に言ひ含めて、あなたの身代り役を勤めさせる。さうして、後日に至り、其密會をあの男に自認せしめさへすれば、迫つて元の鞘へ收めさせることが出来る。それから又、それによつて、お兄さんの命が助かる、あなたの操も汚さないで済む、氣の毒なマリヤナは利益を得る、邪曲なお名代は成敗を受ける。あの

娘は、わしがよく誨へて、應戦に適するやうにして置く。……さうした方がよいとあなたがと思ひなさるか、どうか？ 騙したといふ非難は、二重利益で償ふことが出来る。どうお思ひなさる？

イサベ

お話を想像したばかりで、もう結構だと思つてます、きつと良い具合に運ぶだらうと思ひます。

公

それは主としてあなたの努力次第です。大急ぎでアンジェロさんの許へおいでなさい、萬一今夜にも同衾を迫るやうであつたら、安心させるやうに約束なさい。わしはこれからすぐにセント・リューク院へ往きませう。あそこに、四方堀の別荘に、零落れたマリヤナが住んでゐるのです。わしをあそこで訪ねて下さい。アンジェロとの談判は手つ取早くなさい、急に事を運ぶために。

ありがたう、お心ぞへ下さいます。さやうなら、お師匠さま。

別々に入る。

第二場 監獄前の街上

一方からは、以前の如く假裝した公爵が出る。と他方からは、エルボー(拡張堅平太)とボンペイを伴った役人が出る。公爵ははじめは、後ろの方に立離れてゐる。

エルボ (ボンペイに) いゝやさ、男共や女共を獸類同様に賣つたり買つたりするより外にア、到底爲様がないとなつた日にア、此世界中の人間が、つまり、紅と白の「父なし兒」に亂酔つちまふことになる。ルダ。

公 (傍白) やれく！ こりやまア何といふ奴等だ！

ボンペ 世の中は詰らなくなつちまひやした。二種の高利商賣のうちの愉快な方がお停止になつちまつて、面白くない方が官許になつて、悪黨が狐の皮や羊の皮の外套に温まつて、金の威光で威張返つて出歩くやうになつてから

エルボ さ、こつちへ來さつせ。
ツてもものア、から詰らなくなつちまひやした。

此時公爵前へ進む。

や、ごきげんよう、お上人さん。

公 ごきげんよう、お役人さん。其男は何を犯しましたなり？

エルボ 實は、その、法律を犯したのでござす。それに、賊をも働いたらしいでござす。何故なれば、變的な錠除器械を……其品は既にお名代の手許へ差出したでござすが……持つとるのを發見したのでござす。

公 やれ、ま、あさましい男！……妓夫め！ 淫賣屋め！ おのしは人に悪い事をさせるのを營業としてゐるのだ。考へても見ろ、そんな邪淫を行はせて、それで自分の胃の腑を充したり、脊中に衣を附けたりするのは、一體どんな事だか？ 人にあさましい、汚らはしい事をさせて、さうして己れは



食つてるんだ、飲んでるんだ、着物を着てるんだ、生きてるんだ、と自分で言つて見ろ。そんな臭い、むさい活計をおのしは生活だと思つてゐるのか？

改心しろ、改心しろ。

ホンペ なるほど、どうせ幾らか臭

いにア相違ありませんや。

ですがね、何なら、わッし

が證人になつて……

さやうさ、悪魔の證人か何

公

かなら、おのしにだつて勤まるだらう。……(エルボーに)監獄へお伴れなさい。懲罰も必要だらうし、訓誨も必要だらう、こんな人畜生を改悛させるには。是非ともお名代の前へ引張つて行くでござす。お名代は豫てお誠告があつたでござす。お名代は淫賣を買ふ奴等が大嫌ひでござす。だから、さういふ經驗があつてお前へ出るくらゐなら、飛脚になつて半里も突走つたはうが利方でござす。

公 あゝ！ どうか見たとこばかりでなく、眞實どういふ罪過をも犯さないやうになりたいものだ。……こいつらが偽善の罪だけは流石に犯さないでゐるやうに！

エルボ (ホンペイを見返りながら) ねえ、此奴の頸根ツ子にや、今に貴僧のお腰の物が取附くでござす。……紐が。(と公爵の僧衣に附いてゐる麻帶を指さす)。

此時ホンペイは偶と一方を見やりて、

ボン や、ありがたい。助かりさうだ。保釋、保釋。御最良になる旦那が見えた。

ルー シオ出る。

ルー シ どうしたんだい、ボンベイ將軍！ え、シーザーの戦車に牽れてるのかり？

凱旋の曝し物になつてるのかり？ え、例のビグメリオンの名作の、新美人

て代物は、近頃はもう品切かい？ 衣囊へ手を突込んで、幾ら掴み出して

見せたつても？ え、返辭は？ さういふ鹽梅式の事は、近來は既う駄目

かい？ 此間の、あの大雨で以て、お流れとなつちまつたのかり？ おい、

お婆さん、どうしたてんだよ？ 世の中が變つたのかり？ どうなんだ

よ？ 駄目、まアさ、一寸さ？ え、どう？ どんな具合？

ボンベイ 黙つてゐる。

公 (にがくしげに傍目) やつぱり此體だ。わるくなるばかりだ。

ルー (尙ボンベイに) おい、食べ剩されさんは如何してるね？ お前んとこの女主

さんは？ 相變らず周旋役をしてるのかり？

ボンベ へい、もうすつかり有りつたけの鹽肉を食ツちまひましてね、今ちやア自

身が桶ツ入りをしてまさア。

ルー そいつはけつこう！ 當然だ。さう來なくツちやアならない。生の淫賣

も、鹽漬の淫賣宿もだ。避くべからざる結果だ。さうなくツちやならな

いや。……監獄へ行くのかり？ え、ボンベイ？

ボンベ へい、さよでげす。

ルー いかさま、こりや不當ぢやないね、ボンベイ。……さよなら。……おい、おれ

の故で送られて來たんだと言ひな。……え、借金でか？ どうしたんだ？

エルボ (横合サ) 淫賣の周旋をしたからでござす、淫賣の。

ルー ちやア監獄へお投れなさい。淫賣屋は入獄と定つてるんなら、それア正

にあの男の権利なんですから。疑ひもなくあの男は淫賣屋ですからね。而も年功です、生れ落からです。…さよなら、ボンベイさん。どうぞ監獄へよろしく。ねえ、ボンベイ、入つたら、嚙良亭主振を發揮するだらうな、嚙間に合ふだらうよ。

ボンベ もし、旦那、多分わツしの保釋をして下さいませうでせうねえ。

ルー うんにや、俺アしないよ。そんな事は今は流行らんねえ。ボンベイ、俺アむしろお前の服役期限の延びるのを祈るね。おとなしく服役しないといふと、尙と鎖が重くなるぜ。さよなら、ボンベイさん。…(公爵に) ごきげんよう、和尙さん。

公 ごきげんよう。

ルー ボンベイ、ブリジエツト(賣女の名)は依然塗り立てゝゐるかい、え?

エルボ (ボンベイに) さ、來さつせ。 さ。

ボンベ (ルーシオに) ちやア、旦那、保釋しちや下さいませんか?

ルー ちやも狼もあつたもんぢやないよ。…和尙さん、何か變つた話はありませんかね? 何か珍聞は?

エルボ (ボンベイ) さ、來さつせといふに。 さ。

手荒くボンベイを引立てる。

ルー ボンベイ、早く小屋へ行けよ。 おい。…

エルボ 先に、役人はボンベイを引立て、入る。

公 和尙さん、何か公爵さんの噂を聞きませんか?

ルー 何にも知りませんな。 あなた何かお聞込ですか?

公 露西亞の皇帝と一しよに居られるといふ者もあれば、羅馬に居られるといふ者もあります。 あなたは何處に居られると思ひます?

公 何處に居られるか知りませんね。 が、何處に居られるにもせよ、どうかま

ア御無事であらつしやるやうにしたいものです。

ルー そつとお位を脱出しの、生れも附かん乞食の眞似なんかんてのは、狂人めいた、馬鹿々々しい思ひ附でさア。其お不在中は、アンジェロさんが、すつかり公爵さん氣取で、大ぶ手きびしうござすよ。

公 手きびしいのは結構です。

ルー けれども情事なんかは、もう些と寛大にしたつてもよさうなもんでさ。

公 ところが、それが大ぶ嚴格過ぎるんです。

ルー あんまり一般過ぎる惡徳ですから、厳しくでもせなければ、迎も止みますまい。

ルー 然、いかにも、關係が廣いですが、ど、にも在る奴です、けれどもそれを根絶しすることは出来ませんや、食つたり飲んだりを禁ずることが出来ない以上は。噂ちやア、あのアンジェロさんは、單刀直入式に、男と女とで生んだ

公 んぢやアないと言ひますね。事實でせうかね?

ルー では如何して生れたんです?

公 人魚の子だとか言ひますぜ。雌雄の鱧が生んだんだとも言ひます。とにかく、あの人の小便は、すぐに凝つて氷になるといふことだけは確かです。

ルー それは全く事實です。それから、つまり、生殖力を具へてゐる偶人だてことも間違のないことです。

公 い、加減な戲談をおいひなさる。(と笑ふ)。

ルー まアさ、何て無慈悲な爲方でせう、犢鼻褌が謀叛をしたぐらゐのことで、一人殺すなんて!

公 これが、旅行中の、公爵さんだつたら、そんな事をするでせうか? 公爵さんなら、私生兒を百人やそこいら生ませたからつて、其罪で絞罪に處するなんてア決して爲ませんや。むしろ其子供らを養育しろつて、金の千圓も出してくれませアね。そこはあの人ア大ぶ道樂

者ですからね。兵役の経験があるから、思ひやりがあまりまさアね。

公 女の事で、公爵さんの悪い噂なんか、わたしは曾そ聞いたことはありませ
ん。さういふお方ぢやありませんよ。

ルー とんだこと、大ちがひ！

公 いゝや、決してそんな方ぢやありません。

ルー だれが？ 公爵さんが？ いゝえ、それ、あの五十面の乞食女がゐましたら
う。彼女の面桶の中へ一兩づゝ投込むの、あの人の習慣でした。變な、
氣まぐれな癖もあつたもので。それから泥酔にもなりかねないですよ。
ほんのこつた。

公 そりや全くの冤罪です。

ルー (大真面目で) ねえ、わたしは公爵とは極親しいんです。あの人は臆病者で
さア。わたしにアあの人の身を隠した仔細がよく解つてます。

公 どういふ仔細があつたんですね？

ルー いや、御免々々。こりや大秘密で、齒と唇との間に錠を下して置かんけり
やならんこつてす。が、たゞこれだけ吞込んで下さい。臣民の大
多数は公爵を賢明な人だとばかり思つてゐたてことを。
公 賢明な人！ には相違ないでせう？

ルー なんの、薄ッぺらな、物知らずの、ラツそり先生さ。

公 そりや貴下の悪意か、目ちがひか、でなけりや誤解でせう。公爵はそんな
人でないといふことは、従來のお行狀や爲つた事業やが好い證據です。
其事業に徴して見りや、悪意を有つてる者にも、あの方の學者であり、政治
家であり、軍人であることが解ります。だから、貴下は、よく知らないで、
評してゐなさるのだ。でなくば、悪意の爲に知識が昏んでゐるのです。
ルー いゝえ、大知りです、おまけに、あの人を愛してゐるんです。

公 愛してゐなされア、もつとよく知つてゐなされる筈だし、知つてゐなされア、もつと深く愛してゐなされる筈だ。

ルー なアに、百も二百も承知の上でさア。

公 どうも信ぜられませんが、出たらめとしか思へないから。だが、若し公爵が戻られたら……大丈夫、戻られるに相違ないから……今言ひなすつた通りをどうか公爵の前で言つて見て下さい。虚でない以上、お前でだつて、主張なさることが出来ませう。其際には、是非あなたをお呼びします。お名前を承りたい。

ルー わたしはルーシオ。公爵はよくわたしを知つてまさア。

公 更によく知らつしやりませうよ、わたしが今日の事を申し上げたなら。

ルー そんな事は平氣です。

公 いや、貴下は、公爵は歸られはすまいと思ひ込みのやうだね。でなければ

ば、わたしをば何の害をも得しない敵手だと思つてゐなされるやうだが、成程、つまるところ、無害でも濟みませうかい、卒となりや、今日の一切は取消しておしまひなされるだらうから。

ルー へん、真先に絞罪臺へ上りまさア！ 其考は大間違だ……が、そんなこ

とは止して……時に貴僧知りませんか、クロードイオは、明日いよく殺られるんですかい？

公 どういふ罪で？

ルー どういふツツて？ 漏斗を使つて徳利を充實にしたからでさアね。今噂した公爵さんが戻つてござればと思ふんですがね、あの石佛のお名代に任しておくと、禁慾厲行をやつて、今に全國の人種を絶してしまひまさア。軒先の燕の巢までも取拂はなくつちやならないやうになりまさア、奴等も交尾むからね。これが公爵さんなら、まさかに明るみへ持出しやアしま

せんや、昏いとは昏闇で済ましておきまさア。あゝ、戻つてくれればいゝになア！ 事實、あのクローディオは、只細袴を脱いだてんで、投獄られたんでき。……さよなら、和尚さん。どうぞ、わたしの爲に祈つて下さい。公爵は、もう一度言つとくが、金曜日だつて羊を食ひますぜ。まだくそ癖が止みませんや。ほんのこつた、乞食女とでも接吻をしかねない、赤麵麩や大蒜の臭ひがしたつてもお介意なしにね。わたしが然う言つたとお言ひなさい。さよなら。

ルーシオ 入る。

公 人間と生れては、どんな権力者とても、誹謗をまぬかれることは出来ない。眞白な淑徳も、陰言の打撃を蒙ると、眞黒になる。譏誣の毒舌を取締り得る程の権力を有つた王が何處に在らう？……や、だれか来た。

エスカラス、典獄、つゝいて稼ぎ過ぎ屋の女主を伴れた役人らが

出る。

エスカ さ、其女を監獄へ引立てろ！

女主 御前、お助けなすつて下さい。閣下さんはお慈悲深いといふ評判でございます、ねえ、御前。

エスカ 二度も三度も注意を與へておいたのに、尙同罪を犯しをる！ どんな仁者も虐君とならざるを得んわい。

典 もう十一年間も淫賣屋をいたしてをるんです。

女主 御前、そりやあのルーシオといふ人が言ひ觸らしたことなんでございます。公爵さまのお直裁の時分に、キープダウンさんの許のケートさんに、彼人が赤兒を生ませて、夫婦約束をしましたッけが、はい、其赤兒は五月一日祭の日になれア、一年と四ヶ月になりますんです。はい、わたしが育てゝあげたんです。それなのに、どうでせう、恩を仇で返すのですの！

エスカ 彼奴は大變な放蕩者なんだ。あいつも呼上げることにしよう。…其女を監獄へ引立てろ！ さア、さア。もう黙つて。…

女主を促して役人ら入る。

典獄、同僚のアンジェロどのは、決心を變へられさうにない。明日はクロードイオを殺さねばなるまい。司悔僧を呼んでやつたり、其他出来るだけの慈悲を施してやんなさい。同僚が予と同じ心持になつてくれ、ば斯ういふことにはならんのだが。

典 (公爵へ指さして) 申し上げますが、此坊さんが先刻クロードイオに面會されました。覺悟をして死ぬやうに説諭してくれました。

エスカ や、これは、今晚は。

公 (進み出て) 御機嫌よろしうあらせられまするやう！

エスカ どこから來なすつたなり？

公 お國の者ではございませんけれど、行きが、り上、微力を盡すこと、相成つたのでございます。手前は、法王親下の特命を帯んで、本山から、つい近頃、下向しましたもので、聖會附屬の兄弟僧の一人でございます。

エスカ 目下天下に、何か變つたことがありますか？

公 いや、別段の事ありませんが、美德が大熱病に罹つて、もはや破壊の外には、療治の途がないといふ事だけは事實です。刷新の必要が迫つてゐます。一つ事にいつまでも固著してゐるのは危険です、堅く操つて動かないのは、何事にも結構だとは申すものゝ。近來は、彼の友誼の保證たる誠實は殆ど無くなり、親友を仇敵たらしめる保證沙汰ばかりが流行します。天下の學者たちは、擧つて此謎の解決に苦心してゐます。これは珍らしいくもない話ですが、今尙、毎日此沙汰です。…時に、公爵さんはどういふお氣質の方でございましたね？

エスカ さア、いろいろ御苦勞もなされたが、とりわけ御自身を知らうといふことに苦心せられました。

公 平素、どういふことがお道樂でしたね？

エスカ 御自身の樂みを

喜びとせられる

よりも、他人の

樂むを見て喜ば

れるのがお道樂

であつた。謹厚

方正のお方であ

つた。だが、公爵の御上は、此後とも、萬事めでたく參ること、禱り收めておいて、承りたいは、クロディオの様子です。お前さんは、たしか、彼れを



公 訪問なすつたやうに聞きましたか。

彼仁は、お上の御處分に對して聊かも不平なぞを抱いてをる體はなく、甘んじて御裁決に服すると申してをりました。なれどもさすがに未練な心もあつて、多少は心得ちがひの空頼めをも抱いてをりましたのを、手前が懇ろに説諭いたし、今では彼れも死を決してをります。

エスカ

それは、天に對しても、又罪人に對しても、十分の職責をお盡しなされたと申すべきだ。わたしは、どうかしてあの氣の毒な青年を助けたいと、出来るだけ盡力しましたが、同僚が如何にも峻嚴で、公正其者とも評すべき男なので、如何ともいたしかたがなかつたのです。

公

其方自身の行ひが其峻烈な御裁判に相應しさへすれば結構ですが、若しさうでない、御自身をば宣告なすつたことになりませう。

エスカ

わたしはこれからあの罪人を見舞ふ積りです。……さやうなら。

公

御機嫌よろしう！……

エスカラス、典獄入る。

天に代つて剣を執る者は、峻厳であると共に、誠心誠意でなければならん。おのれを天下の模範と認め、決然として立ち、斷乎として行く底の美德を備へてゐて、おのが罪過以上の量目は、決して他人に支拂はせんやうにしなければならん。あさましいことだ、己れが犯さうとしてゐる其罪で、他人を死刑に處するとは！ いやが上にもあさましいのはあのアンジエロだ、世の罪惡を除くべき身分でありながら、自分自身が罪惡を助長させをる！ あゝ、外面は天使と見えても、肚には何を隠してゐるやら解つたものでない！ 罪惡の上からは同類とも言ふべき奴が、世間の者の目を昏まし、蜘蛛の網同然の誑詐を以て、重大な、大切な物をば釣寄せようとする！ ……惡人に對しては、虚方便も止むを得ない。今夜はアンジエロめをあの

舊の、侮蔑まれた許嫁の女と寝させるやうにしよう。さうすれば、假装を以て假装を制し、偽りを以て偽りに應せしめて、以前の契約を履行させることになる。

公爵入る。

*
*
*
*
*
*
*

第四幕

第一場 セント・リュークス院附近の四方溝の村舎

マリヤナと一少年と出る。少年歌ふ。

へもつてけく、お、あの憎い

人を欺した甘唇を。

もつてけく、黎明の

空かと思紛ふあの目まなこを。

返せ、返せ、

空に捺したる接吻戻せ、

返せ、返せ、

二世の固めの其封じ目に

空に捺したるあの接吻を。

マリヤ さ、もう歌を止めて、早く彼方へ

お行き。あれ、あそこへ。折々

来ては妾の此騒立つ胸を慰めて

くださるお人が見えたから。

此時いつもの通りの

假装にて公爵出る。

マリアナ出迎へて

御免なさいまし。こんなに浮

かれたやうにしてゐる處をお見

せしなければよかつたと思ひま



公 お赦し下さいまし。をかしいとも、面白くとも決して思つちやゐま
せんけれど、それでも、いくらか悲しいのを慰められました。
けつこうです。もつとも、音楽には、悪人を善人にする力もあれば、善人を
唆り立て、悪いことをさせる力もあるが。…時に、けふ、たれかがわたし
を訪ねては来ませなんだかね？ ちようど此時刻に爰へ来る約束をして
おきましたか。

マリヤ だアれも訪ねては見えませんでした、わたしは一日中こゝにゐましたけれ
ど。

公 全く其通りでせう。が、ちようど今が其時刻です。暫くこゝを避けてい
たいきたい。多分今にお呼びするでせう、あなたの爲になる事で。

マリヤ あなたの命には、いつでも従ひます。

マリヤナ 入る。

イサベラ 出る。

公 ちようど好い具合に逢ひました。ようお出で。お名代との交渉はどんな
でしたか？

イサベ お庭は、煉瓦塀で圍繞いて、其西の方の背ろは葡萄畑になつてゐます、さう
してそこに木戸がありますの。其木戸は此大きな鍵で開きます。それか
ら此小さいのでは、其葡萄畑からお庭へ出る道の扉が開きますの。わた
しは、其お庭で、人の寝鎮まる頃にお訪ねするといふ約束をしました。

公 だが、其道筋はよく覚えて来ましたか？

イサベ よく注意して覚えて来ました。聞えないくらゐの聲で、おどくと気が
ねしながら、まるツきし手真似で以て、二度までも途筋を詢へてくれまし
た。

公 其女の仕草について、何か特に約束なすつた證據になるやうなことはあり

伊サベ ませんか？

伊サベ なんにもありません、只昏闇の中へ行けば可いんです。それから、わたしは、幾ら長くつても、只一寸の間しかゐられないと言つておきました。召使ひの者が一しよに来て、兄の事で伺つたのだと思つて、待つてますからツて。

公 それは巧くおやりなすつた。マリヤナさんにはまだ此事を少しも話してないので。……おい、もしく、お内ですか？ お出でなさい。

マリヤナ 又出る。

公 (マリヤナに) どうぞ、此娘御とお知合になつて下さい。此方はあなたのお爲にならうとて見えたのです。

伊サベ (マリヤナに) どうぞよろしく。

公 (マリヤナに) わたしがあなたのお爲を思つてゐることはお信じでせうな？

マリヤ はい、よう存じてゐますし、其實證をも拜見してをります。

公 ちや、この、あなたのお友達の手をお取んなさい。あなたにお聞かせなうといふお話がおあんなさるのです。わたしは差控へませう。さ、早く。もう直に濕つぽい夜になりますから。

マリヤ こちらへいらつしやいませ。

マリヤナ 先に立ちてイサベラを案内して入る。

公 お、位地高く、権力ある者！ 数百万人の僻んだ目が汝を見詰めてゐる。其間違つた矛盾だらけの觀察が元となつて、夥しい流言蜚語が汝の言行に關して言ひ觸らされる。文士どもは汝を其空想の題材にして、無数の落首や悪口を書き散らし、出放題に曲寫したり、侮辱したりする！……

マリヤナとイサベラ 又出る。

待つてました！ どう相談しました？

イサベ お上人さん、あなたが指圖さへなされれば、やつて見ようとおつしやるのです。

公 それはこの方からむしろお願ひすることなのです。

イサベ (マリヤナに) お別れなさる時分に、只一寸小さい聲で、そつとおつしやればいゝのよ。「兄の事を忘れて下さいますな」ツて。

マリヤ (イサベラに) お氣づかひなさいますな。

公 (マリヤナに) いや、あなたも決してお氣づかひなさるな。以前のお約束があるんだから、あの人は、立派にあなたの御亭主だ。で、あなた、ちを逢はせたからツて、それは罪悪でも何でもない、妻女たる正當の権利が此詐欺を立派な事にしますから。……さ、行きませう。收穫はまだくである、租税の種をば、やつとこれから蒔くのだから。皆々入る。

第二場 監獄内の一室

典獄とボンベイと出る。

典 こゝへ來なさい。お前、人の首が斫れるかい？

ボンベ へい、獨身者なら斫れますけれどね、女房持だといふと、亭主は女房の頭だといひますから、駄目でげす。
* 女の頭は斫られないものと定つてますからね。

典 おい、そんな洒落は止して、まつすぐに返辭をしてくんな。明日の朝死刑になるのは、クロードイオとバーナーディンだ。此監獄内にア、死刑執行係はたつた一人しかゐないんだから、手が足りない。若しそれを手傳へア、お前の刑が免ぜられるが、さうでないといふと、掟通り、牢へ入れられて、放免される時にだつて、情容赦なしに、笞で以て叩き放しになるんだ、お前は

札付の淫賣屋なんだから。

ホンベ 旦那、手前はおそろしく長い間、御法に背いて、淫賣屋をしてゐたんでげすが、ぢやア何です、改心して御法を守つて、首絞め役てのを勤めませう。どうか、その同役の方が一應お指圖をなすつて下さいませうやうに。

典 (奥に向つて) おい、アブホオソン！ アブホオソンは何處にゐるんだ？
アブホオソン 出る。

アブホ お呼びですかね？

典 おい、此男が、明日執行の際に、お前の手傳ひをすることになるのだ。異議がなければ、一年契約にして、お前と一しよにこゝで勤務させることにしたい。不可ければ、今度だけ使つて、罷めてもよろしい。お前に對してかれこれ言ふ資格のある男ぢやアない。淫賣屋の手代なんだ。

アブホ 淫賣屋の手代ですツて？ そいつア不可せんや！ 手前の天職の不名譽

典 になりますからね。

典 馬鹿を言へ。お前らは五分々々だ。羽根一枚のツけりや秤皿が顛覆へらアね。

典 典獄に入る。



ホンベ ねえ、もし、旦那…旦那といふやうなお身分だがどうか、存じませんがね、…旦那は御自分のお専門を天職だとおつしやるんですか？

アブホ あ、さうとも。天職だ。

ホンベ 畫工は彩具を塗立

てるのをよく天職だと言ひまさア。ところで、わッしらの商賣物の淫賣女も塗立てるのが役目でげすから、そこでわッしらの専門は、取りも直さず、天職になる譯でげすが、首を絞めるのが、如何して天職になるんでげすかねえ、わッしにア呑込めませんや。

アホ 無論、天職だ。

ボンベ その仔細は？

アホ どの良民の被服だつて、盗賊に着られねいのはねい。よしんば、奴にア小過ぎたからつて、良民はそれをちようと好い頃加減の大ききだと思つてるからな。よしんば又、盗賊にア大き過ぎたからつて、奴、それをちようと好い頃加減の小さ、だと思ふからなア。だから、どの良民の被服だつて、盗賊に着られねいのはねい。

と薩張要領を得ないことを言ふ。典獄又出る。

典 相談は定つたかね？

ボンベ へい、あの方のお手傳ひをします。首絞め役の方が淫賣の手引よりア後生氣の多い専門のやうでげすから。時に詫言をいふだけでも刃勝でげす。(アアホオソンに) おい、お前は、首切臺と斧の用意をしておきな、明日の四時までに。

アホ さ、淫賣屋。やり方を教へてやるから、従いて來な。

ボンベ 教へて下さいまし。お使いなされア、大丈夫お役に立ちませうぜ、御深切は無にしねい男でげすから。

典 バーナーディンとクローディオに來いと言つてくれ。

ボンベいとアアホオソンと入る。

一方は可哀さうだが、一方は殺人犯だから、あれが弟だからつて、氣の毒とは思へない。

クローディオ出る。

おい、クローディオ、(と令状を示して) これがお前を死刑に處する令状だ。今は真夜中だが、明日の八時になると、お前さんは不死不滅になるんだ。……バーナーデインは？

クロー ぐつすりと眠込んでゐます、何咎もない旅人が、草臥れ果て、熟睡してゐます時のやうに。目を覺しアしません。

典 爲やうのない奴だ！ ぢや、退つて、覺悟をしておいでなさいよ！

奥にて戸を叩く音。

や、だれだか叩いてゐる。……随分氣をたしかに！

クローディオ 入る。

(奥に向つて) 只今……多分あの柔和なクローディオの赦免か減刑かであらうと思ふが。

公爵例の假裝のまゝ、大きな印形を捺した書面を持つて出る。

や、これは、ようお出でなさい。

夜の最健全、最善良な精靈がたがお手前をお護り遊ばされるやうに……最近にだれか訪問しましたかな！

だれも來ません、消燈鐘が鳴りましてからは。

イサベラも參りませんか？

はい、來ません。

では程なく、あの手合が來ませう。

クローディオへ何か吉左右はありませんか？

多分何かあるだらうと思つてゐます。

お名代は酷い方です。

公 典 公 典 公 典 公

公 いや〜、さうでない。お名代の平素の行實は全く其峻嚴な御裁判と平
 行してゐます。臣民への禁令は、誠心誠意、自身にも禁じてをられます。
 他人に對して懲誡してゐることを、若しも自身が犯してゐるやうでは、暴君
 だと言はなければならんが、右いふやうな次第だから、全く正しい人です。

典にて戸を叩く音。

あゝ、あの人達が來ました。

典獄入る。

やさしい典獄だ。酷い筈の牢役人が情深いといふのは珍しいことだ。

典にて戸を叩く音。

やれ〜！ 何といふえらい音だ？ あんな風に叩いて、開かない扉を毀
 だらけにしようとする仁は、よつほと急込んでゐるんだ。

典獄又出る。

典

(獨語のやうに) 門番が目を覺して入れてくれるまでは、待つてゐなくちやな
 らんよ。今ちようど起したとこだ。

公

クローディオの明日の死刑を取消すといふやうな命令はまだ來ませんか？
 來ませんよ、何にも。

典

もう夜明までに間がないのだから、何か知らせがありませうよ、朝までに
 は。

典

何か貴下にやお心當りがあるんでせうが、お取消があらうなぞとは手前
 は思へません。そんな先例は有りませんからね。のみならず、現に裁判
 所で、公衆の前で、アンジェロ卿が其反對の事を宣言せられたんですから
 ね。

使者役、大きな封書を持つて出る。

ありやアンジェロさんの御家來です。

公 あれが即ちクロードイオを赦免の使ひです。

使者 閣下からの御書面です。……

書状を渡す。典獄開封して讀む。

尙手前から口上で申せといふ御命令は、……お手前が、時間も、事柄も、其他の事も、聊かたりとも此御令状の主旨に背かれないやうに、といふ事でありませうから、好朝を迎へさせられい、もう朝でありませうから。かしこまりました。

典

使者役入る。典獄は尙令状を讀んでぬる。

公 (傍白) あれは赦免する者自身が同じ罪惡を犯した爲に買ふことの出来た赦免なのだ。これだから、高官の者が罪を犯すことになる、犯罪が忽ち一般に波及する。惡人の施す慈悲は、却つて其範圍が廣い、罪過其者が可愛さに犯罪人を庇ふんだから。……(典獄に) どういふことになりましたな？

典

手前が言つた通りです。アンジェロさんは、手前が役目を緩漫にでもして、るやうにお思ひなすつて、例にないお督促です。どうも奇態です、斯ういふ例はないことなんですから。

公

令状の趣意を聽かして下さい。

典

(讀む)

「如何なる反對の令ありとも、クロードイオは四時に死刑に處すべし、而して午後にはバーナーディンを刑すべし。予をして安心せしむるため、五時には予の許へクロードイオの首を送るべし。此事決して違ふべからず。これには、公然申し渡す以上の重大なる理由ありと考ふべし。職務を盡すことを誤るに於ては、罪責汝の身に及ばん。」……

どうお考へです、此令状を……

公

午後、に死刑に處せられるそのバーナーディンといふのは何者です？

典 生れ落ちからの無籍者なんです。さうして、こゝで育てられもし、養はれ
もした奴です。もう九年間も監獄住居をしてゐます。

公 それはまた如何したといふんです、外遊中の公爵さんが、放免もせず、處刑
もせず、うツちやつておかれたといふのは？ 何とかなさるのが定例ぢ
やありませんでしたか？

典 奴の友達が命乞をしようとして、躍起と運動しましたんで、それで罪科が確
定しなかつたんです、アンジェロさんの御管轄の今日までは。

公 それか今日では明かになりましたか？

典 十分明白になりました。常人も否認しません。

公 で、それ以來、獄内で神妙にしてゐますか？ 感じてゐる體ですか？

典 死ぬことなんかは、てんで泥酔になつて睡ることぐらゐにしか思つてませ
んや。過去も、現在も、未來も、恐れもしなければア介意ひもせず、頓着もし

公 ません、命知らずの罰當りなんです。

典 そりや教誨せにやならん。

公 何の、教誨なんか聴きやしません。獄内で我儘勝手を爲つてゐたん
ですから、脱獄の許可を與へたからつても、出て行きやしません。日に幾

度酒を飲んでます。わるくすると、幾日もく泥酔てます。折々叩き
起しましてね、「さア死刑だ！これが執行状だぞ！」つて、好い加減の物を

典 見せたことがありますッけが、奴さん、平氣の平左でさ。

公 其男の事は、尙後で聴きませう。典獄さん、あなたは全く正直な、誠實
な人だといふことは、あなたの其眉根に書いてあります。これがわたし

の読みちがへなら、年效もない鑑定ちがひだが、大丈夫見そこなはない積
りです。ねえ、あなたが死刑にせよと吩咐けられてゐる其クローディオが

典 罪人なら、死刑を宣告するアンジェロさんも同等の罪人なのです。其理由

は、只四日だけ猶豫して下されば、明瞭な事實によつて、あなたに了解させます。その代り、大ぶ冒険ではあるが、わたしに一種の好意を寄せて下さい、今即座に。

典 公 典
どんなことをするのです？

死刑を延して下さい。

典 公 典
駄目です！ どうしてそんな事が出来ませう、時刻を限られてます！

それに、其首をアンジエロさんのお目に掛けなければ、嚴刑に處するといふ特別の命令なんです。少しでも背いた時分にア、手前もクローディオと同格になりさうでさ。

公
わたしの宗門の誓約に懸けて保證します、どうかわたしの忠告を聽いて下さい。そのバーナーディンを今朝の中に死刑になさい、さうして其首をアンジエロさんへお送りなさい。

典 公

アンジエロさんは双方の顔を知つてをられますから、露顯します。

典 公
おゝ！ 死顔は酷く變るものです、其上へ更に手をお加へなさい。頭髮

をも髭をも剃つておしまひなさい、さうして死ぬ前に然うされるやうにと、當人が改悛して、望んだとお言ひなさい。これは有りがちの事せう。それが爲に感謝、幸運以外の何事か、貴下の身に起るやうであつたら、わたしは宗祖を誓に掛けて、命がけで辯護します。

典 公 典
御免なさい。それは宣誓違反になりますからね。

典 公 典
宣誓とは、公爵に對してはすか、お名代に對してはすか？
公爵にも、お名代にもです。

典 公 典
若し公爵さへ其行動を正義だとお認めになれば、貴下はそれを犯罪だとは思ひますまい。

典 公 典
けれども、公爵がさうお認めになるだらうと、どうして想像することが出

來ますか？

公

想像どころでなく、事實然うなのです。けれども、わたしが此服に懸けて

正直にお勧めしても、貴下は懸念して信じなさんやうだから、其懸念を

除く爲に、豫期以上にお話を進めます。(と持てゐる書簡を見せて) 御覽なさい。

こゝに公爵御自筆の封書があります。無論、お手を御存じだらう。御印

にも見覚えがありません。

典

知つてます。

公

此内容は公爵の御歸國に關した事です。やがて御都合のよい時にお読み

なさい、此二日以内にお歸りになるといふ事が書いてある筈です。これ

はアンジェロさんの知らんことです、あの人は今日妙な報道を受取りませ

う、公爵が死なれたとか、或山寺へ退隠せられたとか、とにかく、これに書

いてあるやうな事は、多分少しも耳に入りますまい。……(向うを見て) あゝ、

もう、曉の明星が羊飼を起しはじめます。どうして然ういふことになる

かと呆れてゐなさんには及ばん。すべて葛藤は筋が分りさへすれば、容

易く釋ける。執行係を呼んで、バーナーデインの首をお斫らせなさい。パ

ーナーデインにはわたしが引導を與へて善い處へ往かせるやうにします。

……まだ呆れてゐなさんか？ これを讀めば、大丈夫、決心がつきますよ。

さ、往きませう。もう殆ど明け離れてしまつた。

二人ともに入らる。

第三場 獄内の廊下

其向うにバーナーデインの獄室の戸口が見えてゐる。

ボンペイ出る。

ボンペ

知つた人ばかりゐるから、商賣がへをしなないでゐたのも同様だ。相變ら

す稼ぎ過ぎ屋の女主人の宅にゐるのかと思ふくらゐのもんだ、女主人の古いお顧客が多勢ゐるんだから。先づ、若旦那の、あの暗雲屋さんがゐる。蔦色紙と古生姜を代物に使つたて科で来てゐなさんだ。三百圓の中なかで三圓さんだけしか正金なまにアせなかつた爲だ。事實じじつ、あの時分じぶんにア、あんなり生姜しょうがの需要じゆえうはなかつたからなア、婆さん連れんがみんな死くたはつちまつてゐたから。それから、あの跳舞ケイバさんがゐる。呉服屋こふくやの三推積スリ、パイルさんに桃色ももいろ縹ひょう子こ四揃よそろひの一件けんで、「恐れながら！」と出訴でしかけられたんだ。そこで大將たいしやう、顔かほの色いろが桃色ももいろになつたり、眞蒼まそうになつたりだ。それから、あの賭博好ザッポの若造わかざうさんも来てゐれば、深誓言チープボウさんも、鍍金柏車カッパースパイルさんも、あの氣取屋きどりやの馬丁泣スターツラツキかせさんも、肥満漢よとつちやうの肉饅頭フツチングを殺した零落高利屋ドロツプアエーヤ、槍術者さうじゆつしやの直線ホースライトさん、旅行好りよかうずきの靴飾シューチさん、酒瓶ポツツどんを只た一突ひとツキにしたあの亂暴らんぼうな小鐘ハーフカンさんなんぞも来てゐる。まだ其他そのほかにも、四十人にんぐらゐは来てゐるらしい。つまり、こちとら

の商賣しやうばいの大旦那おほたんは、今いまちやアみんな「どうぞやお冥加みやがさまに！」の御連中ごれんちゆうだ。

アアホオソン 出る。

アアホ おい、バーナーデインをこゝへ呼よんで來きな。

ボンベ (獄室ごくしつの戸口とぐちに近づちかきて) バーナーデインさん！ お起おきなさいよ、首くびを絞しめられなくちやならんですよ！

アアホ おい、バーナーデイン！
と戸とを開あける。

バーナ (中なかにて) やかましいやい！ だれだ、騒さわぎやアがるのは？ 何なんだ、貴き様さまらは？
ボンベ あなたの御親友ごしんゆうなんでき、首絞め役くびしやくでき。どうぞねえ、すぐお起おきなすつて、殺ころされて下さいな。

バーナ (中なかにて) うるせい、往いッちまへ！ 眠ねむいやい。

アブホ (ボンベイに) 起きなくちやいけねいと言ひな。…早くく。

ボンベ バーナードインさん、どうぞ起きて下さいな、殺される間だけで可うがさ。

あとでお眠なさいよ。

アブホ 中へ入つて、引張り出したな。

ボンベ もう出て来ますよ、へい、出て来ますよ。藁の音がしています。

アブホ 首切臺の上に斧は載つてるかい？

ボンベ 大丈夫でげす。

バーナードイン 目をこすりく出る。

バーナ どうしたんだ、アブホオソン？ 何事が持上つたんだい？

アブホ けふこそ、ほんとにお禱りをはじめるがいゝぜ。これ、此通り、令状が來

てるんだからな。(と令状を見せる)。

バーナ 馬鹿言へ、おら昨夜中飲んでゐたんだからな、けふは不可ねいよ。

ボンベ ちようど可いちやありませんかね？ 夜中飲んでゐて、翌朝起きぬけに殺

されりや、其日一日中は、ぐツすと眠られまさアね。

アブホ 見さつせ、あそこへお上人さんが來た。これでも戲談だと思つてるん

か？

公爵、例の假装にて出る。

公 (バーナードインに) 急に此世を去られると聞いて、博愛の宗旨上、説諭もした

し、慰めてもあげたし、又お禱りもしてあげたさに、やつて來ました。

バーナ お出家さん、俺なら御無用だ。おらは夜ツびで飲ひ酔つてゐたんだから

ね、早急に覺悟するわけにやいけねいよ。奴らに割木で腦天を叩きみじ

かれるまでに、一寸暇が掛からア。けふ死ぬのは御免だ。眞平だ。

公 いやく、さうはなりません。だから、行かなければならん永旅の準備に

かかんなさい。